

本書の見方

目次

索引



準備する



基本的な使い方



撮る



再生する



無線機能



その他の設定をする



## お使いになる前にお読みください



- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、修理受付窓口へご相談ください。
- モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。



# 本書の見方

## トップページ



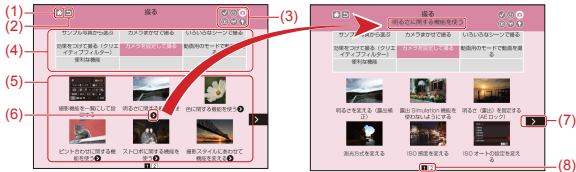
- (1) 本ページに移動します。  
この使用説明書の見方について説明しています。
- (2) 目次ページ、索引ページに移動します。
- (3) 6つの項目をクリックすると、各項目の先頭ページに移動します。



## 本書の見方 ポータルページ



項目の入り口となるページをポータルページと呼びます。



- (1) 先頭ページに移動します。
- (2) ひとつ前に表示したページに戻ります。
- (3) それぞれの項目のアイコンを表示しています。  
アイコンをクリックすると、その項目のポータルページに移動します。
- (4) 各項目内のカテゴリーを表示しています。  
選択したカテゴリーに含まれている記載内容が (5) に表示されます。ポータルページによっては、このカテゴリーがないページもあります。







## 本書の見方 ポータルページ

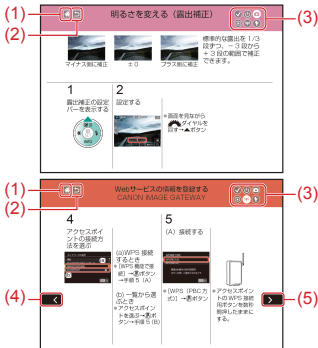


- (5) 選択したカテゴリーに含まれる記載内容を表示しています。見出しをクリックするとその本文ページに移動します。
- (6) 見出しに関する内容に、いくつかの小項目があるときに表示しています。
- (7) 次ページに続きがあるときに表示されます。
- (8) ポータルページが2ページ以上あるときに、現在表示しているページを確認できます。





# 本書の見方 本文ページ



- (1) 先頭ページに移動します。
- (2) ひとつ前に表示したページに戻ります。
- (3) それぞれの項目のアイコンを表示しています。  
アイコンをクリックすると、その項目のポータルページに移動します。
- (4) 前ページから続いているときに表示されます。
- (5) 次ページに続きがあるときに表示されます。



## 本書の見方 文章中の記載



- 本書では、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って操作方法を説明しています。
- 次の操作部は、絵文字で示しています。



- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[ ] つきで示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- レンズやマウントアダプターは、レンズキットに入っているか別売かにかかわらず、「レンズ」「マウントアダプター」と記載しています。
- 本文中のイラストは、EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM レンズを付けた状態で説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- 撮影モード選択の説明がない機能は、P モードになっていることを前提に説明しています。



# 目次



お使いになる前にお読みください

本書の見方

目次

安全上のご注意

## 準備する

ストラップを付ける

バッテリーを充電する

カード（市販品）を準備する

バッテリーを入れる / 取り出す

カードを入れる / 取り出す

日付／時刻を設定する

表示言語を選ぶ

レンズを取り付ける

レンズを取り外す

EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける

EF レンズ、EF-S レンズを取り外す

EF レンズ、EF-S レンズで三脚を使う

EF レンズ、EF-S レンズで手ブレ補正を使う

カメラを構える



# 目次



## 基本的な使い方

- 使ってみる
- 各部のなまえ
- 電源の入れかた／切りかた
- シャッターボタンの押しかた
- 撮影モードの切り換えかた
- モニターの向きや角度の変えかた
- 撮影画面に表示される枠
- 撮影時の画面表示の切り換えかた
- 再生時の画面表示の切り換えかた
- クイック設定画面の表示と操作方法
- MENU（メニュー）の表示と操作方法
- 半角や英数字を入力する
- 漢字やひらがなを入力する
- ランプの表示
- タッチ操作

## 撮る

- サンプル写真から選ぶ
- カメラまかせで撮る



# 目次



- いろいろなシーンで撮る
- 効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）
- カメラを設定して撮る
- 動画用のモードで動画を撮る
- 便利な機能

## 再生する

- 見る
- 探す
- 管理する
- 消す
- 静止画を編集する
- RAW 画像をカメラで現像する
- 動画を編集する

## 無線機能

- 無線機能でできること
- NFC 対応のスマートフォンに画像を送る
- 再生モードで NFC 対応のスマートフォンに画像を送る
- Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る
- Webサービスの情報を登録する
- Web サービスに画像を送る



# 目次



## その他の設定をする

- AF 補助光（ランプ）が光らないようにする
- 赤目緩和機能（ランプ）を切る
- 撮影直後の画像表示時間を変える
- フォルダを撮影日ごとに作る
- 画像番号のつけかたを変える
- カードを初期化する
- カードを物理フォーマット（初期化）する
- ビデオ方式を変える
- エコモードを使う
- 節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える
- 画面の明るさを変える
- 撮影時の情報の表示内容を設定する
- 再生時の情報の表示内容を設定する
- 世界時計を使う
- 日付／時刻を変える
- 表示言語を変える
- 電子音を鳴らさない
- 操作したときに音を鳴らす



## 目次



文字入力で半角スペースを使う  
文字入力の変換履歴を初期化する  
機能の説明を表示しない  
撮影モードを一覧で表示する  
タッチパネルの設定を変える  
タッチパネルを一時的にロックする  
撮像素子の自動クリーニングを行わない  
撮像素子のクリーニング機能を動作させる  
撮像素子を手作業で清掃する  
認証マークを確認する  
画像に記録する著作権の情報を登録する  
登録した著作権情報をまとめて消す  
カメラの基本設定を初期状態に戻す  
カメラの設定を機能ごとに初期状態に戻す

## 索引

無線機能 (Wi-Fi/Bluetooth など) について  
電波干渉について  
商標、ライセンスについて  
修理対応期間について  
本書について





## 安全上のご注意



安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。  
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



### 警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。  
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。

感電、破裂、火災の原因となります。





## 安全上のご注意



- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となります。

- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。
  - 指定外の製品で使わない。
  - 熱したり、火中投入しない。
  - 指定外の製品で充電しない。
  - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
  - 液漏れしたものは使わない。
  - 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

感電、破裂、火災の原因となります。

液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗ったあと、すぐ医師に相談してください。

- バッテリーチャージャーや AC アダプターを使うときは、次のことに注意する。
  - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
  - めれた手で電源プラグを抜き差ししない。
  - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
  - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。





## 安全上のご注意



- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーや AC アダプターに触れない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

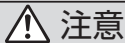
感電、破裂、火災の原因となります。

- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



### 注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストロボを目に近付けて発光しない。

目をいためる恐れがあります。

- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。



## 安全上のご注意



- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。

けがやカメラの故障の原因となります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。

やけどや故障の原因となります。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

### 注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。

撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。

液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。





## 安全上のご注意



- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

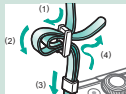
- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。故障の原因となることがあります。

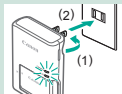




# 準備する



ストラップを付ける



バッテリーを充電する



カード（市販品）を準備する



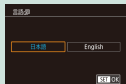
バッテリーを入れる / 取り出す



カードを入れる / 取り出す



日付／時刻を設定する



表示言語を選ぶ



レンズを取り付ける



レンズを取り外す

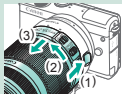




## 準備する



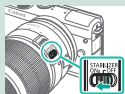
EF レンズ、EF-S レンズ  
を取り付ける



EF レンズ、EF-S レンズ  
を取り外す



EF レンズ、EF-S レンズ  
で三脚を使う



EF レンズ、EF-S レンズ  
で手ブレ補正を使う

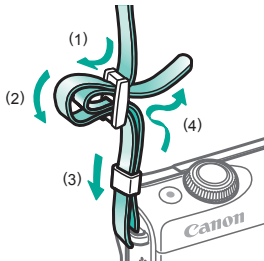


カメラを構える





# ストラップを付ける





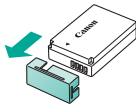


# バッテリーを充電する



1

バッテリーの  
カバーを外す



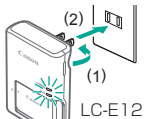
2

バッテリーを付  
ける



3

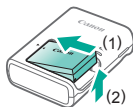
充電する



- 充電中：オレンジ
- 充電完了：緑色

4

バッテリーを  
外す





## カード（市販品）を準備する



次のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード<sup>\*1</sup>
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード<sup>\*1\*2</sup>
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード<sup>\*1\*2</sup>



\*1 SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

\*2 UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

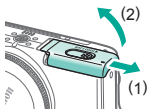


# バッテリーを入れる / 取り出す



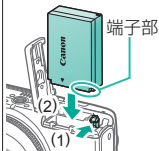
1

バッテリー収納部ふたを開ける

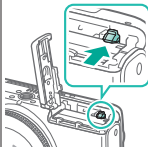


2

バッテリーを入れるとき

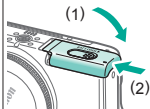


バッテリーを取り出すとき



3

バッテリー収納部ふたを閉める





# カードを入れる / 取り出す



1

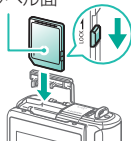
カード収納部  
ふたを開ける



2

カードを入れる  
とき

ラベル面



カードを取り  
出すとき



3

カード収納部  
ふたを閉める





# 日付／時刻を設定する



1

電源を入れる



2

日付／時刻を設定する



- ◀/▶ ボタンで項目を選ぶ → ▲/▼ ボタンで設定する → Ⓢ ボタン

3

自宅のエリアを設定する



- ◀/▶ ボタンで選ぶ → Ⓢ ボタン



# 表示言語を選ぶ



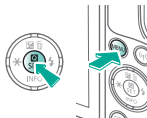
1

再生モードにする



2

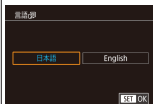
メニューを表示する



-  ボタンを押したまま **MENU** ボタンを押す。

3

言語を設定する



- ◀/▶ ボタンで選んで →  ボタン



# レンズを取り付ける



1

電源を切る



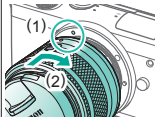
2

レンズとカメラのキャップを外す



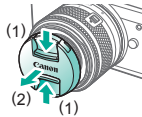
3

レンズを付ける



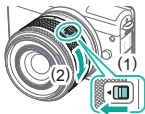
4

レンズキャップを外す



## 5

撮影の準備を  
する



- (1) を押したま  
ま、(2) を少し回  
し、スイッチを放  
す。



- 「カチッ」と音が  
するまで、さらに  
(2) を回す。
- ピント合わせの  
前にズーム操作  
を行う。



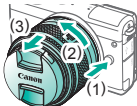
## 1

電源を切る



## 2

レンズを外す



- (1) を押したまま、レンズを (2) の方向に回転が止まるまで回す。
- (3) の方向に外す。

## 3

レンズとカメラのキャップを付ける





# EF レンズ、EF-S レンズを 取り付ける



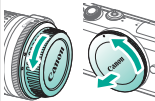
1

電源を切る



2

レンズとカメラの  
キャップを外す



3

カメラにアダ  
プターを付け  
る

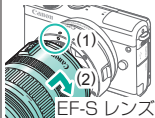


4

レンズを付け  
る



EF レンズ



EF-S レンズ



# EF レンズ、EF-S レンズを取り外す



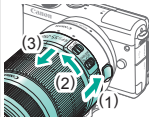
## 1

電源を切る



## 2

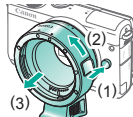
レンズを外す



- (1) をスライドしたまま、レンズを (2) の方向に回転が止まるまで回す。
- (3) の方向に外す。

## 3

アダプターを外す



- (1) を押したまま、アダプターを (2) の方向に回転が止まるまで回す。
- (3) の方向に外す。

## 4

レンズとカメラのキャップを付ける



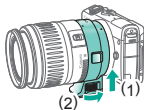


# EF レンズ、EF-S レンズで 三脚を使う



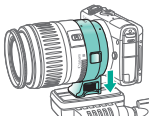
1

三脚座をアダ  
プターに付け  
る



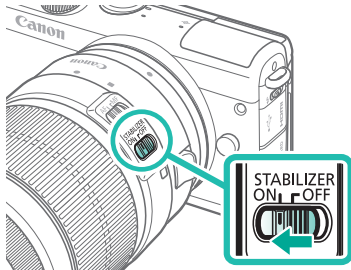
2

三脚座のねじ穴  
に三脚を付ける



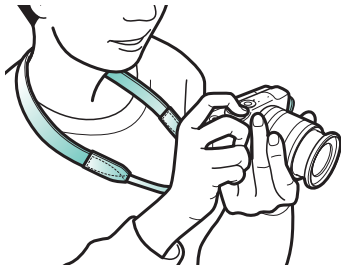


# EF レンズ、EF-S レンズで 手ブレ補正を使う





# カメラを構える

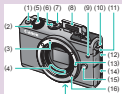




# 基本的な使い方



使ってみる▶



各部のなまえ



電源の入れかた／切りかた



シャッターボタンの押し  
しかた



撮影モードの切り換え  
かた



モニターの向きや角度  
の換えかた



撮影画面に表示される  
枠



撮影時の画面表示の切  
り換えかた



再生時の画面表示の切  
り換えかた





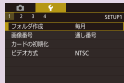
# 基本的な使い方



クイック設定画面の表示と操作方法



漢字やひらがなを入力する



MENU (メニュー) の表示と操作方法



ランプの表示



半角や英数字を入力する



タッチ操作





# 基本的な使い方 使ってみる



静止画を撮る（シーンインテリジェントオート）



動画を撮る（シーンインテリジェントオート）



静止画を見る



動画を見る



消す



# 使ってみる



静止画を撮る（シーンインテリジェントオート）



1

電源を入れる



2

目的のモードにする



3

撮りたいものの  
の大きさを決  
める



- (1) シーンアイコン
- (2) 撮影可能枚数
- (3) 撮影可能時間





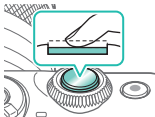
## 試してみる



静止画を撮る（シーンインテリジェントオート）

### 4

ピントを合わせる



- シャッターボタンを浅く押す。
- ピントが合うと、電子音が「ピッ」と2回鳴ります。

### 5

必要に応じてストロボを上げる



- ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

### 6

撮影する



- [ストロボを上げてください] が表示されたときは、**⚡** スイッチを動かす。





使ってみる

動画を撮る（シーンインテリジェントオート）



1

電源を入れる



2

目的のモードにする



3

撮りたいものの  
の大きさを決める



- (1) シーンアイコン
- (2) 撮影可能枚数
- (3) 撮影可能時間





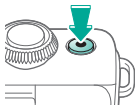
使ってみる

動画を撮る（シーンインテリジェントオート）



4

撮影をはじめる



5

撮影を終える



- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントが合います。





# 使ってみる 静止画を見る



## 1

再生モードに  
する



## 2

画像を選ぶ



- ◀ ボタン：前の画像
- ▶ ボタン：次の画像



# 使ってみる 動画を見る



## 1

再生モードにする



## 2

画像を選ぶ



- ◀ ボタン：前の画像
- ▶ ボタン：次の画像



- 動画は、**「SET▶」**が表示されます。

## 3

動画を再生する





使ってみる  
動画を見る



## 4

音量を調整する



- ▲ / ▼ ボタンで  
[▶] → (SET) ボタン







# 使ってみる 消す



1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



- ◀ボタン：前の画像
- ▶ボタン：次の画像

3

消す

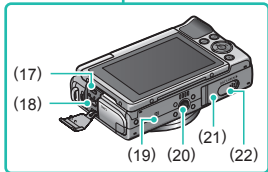
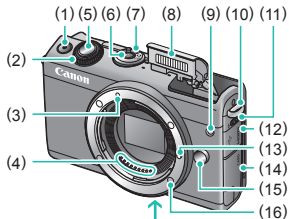



- ◀/▶ボタンで[消去] → (SET) ボタン



# 各部のなまえ

## 前面

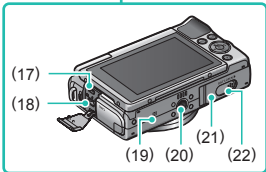
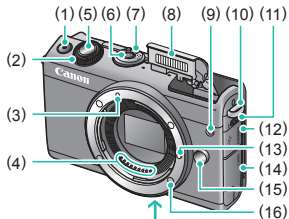


No.	なまえ	本書の 表記
(1)	動画ボタン	
(2)	電子ダイヤル	
(3)	EF-M レンズ取り付け指標	
(4)	接点	
(5)	シャッターボタン	
(6)	電源ボタン	
(7)	モードスイッチ	
(8)	ストロボ	
(9)	ランプ (前面)	





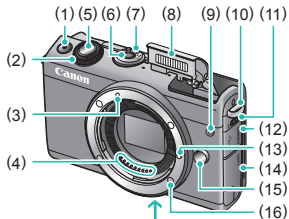
## 各部のなまえ 前面



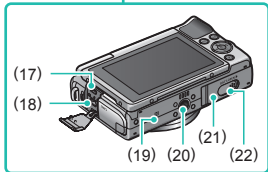
No.	なまえ	本書の 表記
(10)	ストラップ取り付け部	
(11)	ストロボポップアップ スイッチ	
(12)	端子カバー	
(13)	レンズロックピン	
(14)	カード収納部ふた	
(15)	レンズロック解除ボタン	
(16)	レンズマウント	
(17)	HDMI™ 端子	
(18)	デジタル端子	



## 各部のなまえ 前面

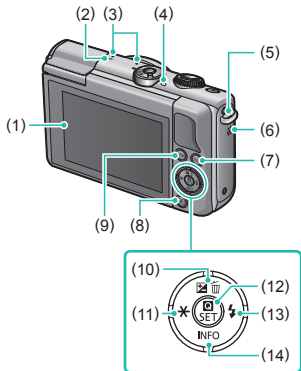


No.	なまえ	本書の 表記
(19)	N マーク	
(20)	三脚ねじ穴	
(21)	バッテリー収納部ふた	
(22)	DC カプラー端子 カバー	





## 各部のなまえ 背面

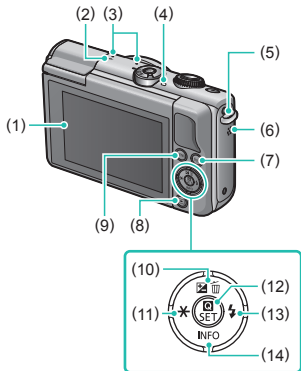





No.	なまえ	本書の 表記
(1)	モニター／タッチパネル	
(2)	撮像面マーク	
(3)	マイク	
(4)	ランプ（背面）	
(5)	ストラップ取り付け部	
(6)	スピーカー	
(7)	Wi-Fi ボタン	
(8)	再生ボタン	





## 各部のなまえ 背面

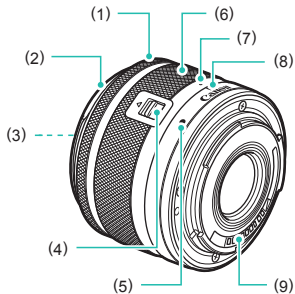


No.	なまえ	本書の 表記
(9)	メニューボタン	<b>MENU</b>
(10)	露出補正 / 1 画像消去 / 上ボタン	 /  / ▲
(11)	AE ロック / 左ボタン	* / ◀
(12)	クイック設定 / 設定ボ タン	
(13)	ストロボ / 右ボタン	⚡ / ▶
(14)	インフォメーション / 下ボタン	<b>INFO</b> / ▼





## 各部のなまえ レンズ



No.	なまえ	本書の 表記
(1)	フォーカスリング	
(2)	フード取り付け部	
(3)	フィルター取り付けねじ部	
(4)	レンズ収納スイッチ	
(5)	レンズ取り付け指標	
(6)	ズームリング	
(7)	レンズ収納位置指標	
(8)	ズーム指標	
(9)	接点	





# 電源の入れかた／切りかた



## 撮影モード



## 再生モード



- 電源を入れる：  
▶ ボタンを押す
- 電源を切る：電源  
ボタンを押す



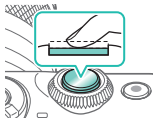


# シャッターボタンの押しかた



1

半押し（浅く  
押してピント  
を合わせる）



- 電子音が「ピッ」と2回鳴ります。
- ピントが合った位置に枠が表示されます。

2

全押し（そのま  
ま深く押して撮  
影する）



- 撮影されます。



# 撮影モードの切り換えかた



撮影シーンにあわせて撮影モードを切り換えます。

- (1) カメラまかせの全自動撮影ができます。
- (2) いろいろな効果をつけたり、各種機能を設定して撮影ができます。
- (3) 動画が撮影できます。

## 1

モードを選ぶ



- モードスイッチを動かす。
- または を選んだときは、手順 2 に進む。

## 2

撮影モードを選ぶ

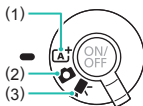


- 画面左上のアイコンをタッチする。





## 撮影モードの切り換えかた



撮影シーンにあわせて撮影モードを切り換えます。

- (1) カメラまかせの全自動撮影ができます。
- (2) いろいろな効果をつけたり、各種機能を設定して撮影ができます。
- (3) 動画が撮影できます。

### 3

#### 設定する



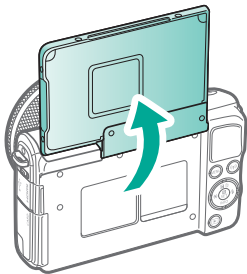
- 上下にドラッグして、目的の撮影モードをタッチする。



- [OK] をタッチする。



## モニターの向きや角度の 変えかた



- 約 180° まで開くことができます。



# 撮影画面に表示される枠



## 白の枠



- 主被写体と検出した顔やものに表示されます。

## 緑の枠



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに表示されます。

## 青の枠



- [A+]** モードで、動いている被写体にピントを合わせ続けているときに表示されます。シャッターボタンを半押ししている間、表示されます。

## オレンジ色の枠と **[!]**



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合わないときに表示されます。



# 撮影時の画面表示の切り換えかた



撮影情報



ヒストグラム



情報表示なし



撮影機能画面

1

表示を切り換える





# 再生時の画面表示の切り換えかた



情報表示なし



情報表示 1  
(簡易情報表示)



情報表示 2  
(詳細情報表示)



情報表示 3  
(詳細情報表示)

1

表示を切り換  
える





## クイック設定画面の表示と操作方法



1

設定画面を表示する



2

設定項目を選ぶ



3

設定内容を選ぶ



- (1) 設定項目
- (2) 設定内容







## 4

設定を終える



- **「MENU」** が表示される項目では **MENU** ボタンを押して設定する。





# MENU（メニュー）の表示と 操作方法



1

メニューを表示する



- (1) 系統タブ
- (2) ページタブ
- (3) 設定項目
- (4) 設定内容

2

タブを選ぶ



3

設定項目を選ぶ





## 4

設定内容を選ぶ



## 5

設定を終える





## 半角や英数字を入力する



文字を入力するとき



- 文字をタッチして入力→ [確定]

入力位置を移動するとき



- [←] か [→] をタッチする。

文字の種類を変えるとき



- [ABC]、[123] か [#\$%] をタッチする。

文字を消すとき



- [←X] をタッチする。





## 半角や英数字を入力する

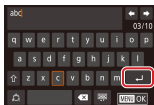


キーボードの種類を変えるとき



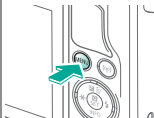
- [📻] をタッチする。
- [🔢]：数字や記号などに切り換え
- [🔠]：大文字に切り換え

改行するとき



- [↵] をタッチする。

元の画面に戻るとき





# 漢字やひらがなを入力する



文字の種類を変  
えるとき



- [あいう] をタッチする。

文字を入力す  
るとき



入力位置を移  
動するとき



- [←] か [→] をタッチする。

文字を消すと  
き



- [X] をタッチする。

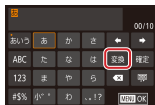




## 漢字やひらがなを入力する



文字を変換するとき



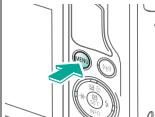
- **変換** をタッチする。

文字を確定するとき



- **確定** をタッチする。

元の画面に戻る時

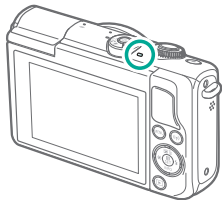




## ランプの表示



背面のランプは、カメラの状態に連動して点滅状態が変わります。



色	状態	操作状況
緑	ゆっくりと点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● パソコン接続時</li><li>● 画面消灯時（ディスプレイオフ）</li></ul>
	点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>● 起動中</li><li>● カードへの記録／読み出し中</li><li>● 各種通信中</li><li>● 長秒時の撮影中</li><li>● Wi-Fi 接続中／データ送受信中</li></ul>

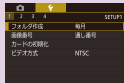




# 基本的な使い方 タッチ操作



クイック設定画面



MENU（メニュー）



見る



# タッチ操作

## クイック設定画面



設定画面を表示するとき



- **[Q]** をタッチする。

設定するとき



- 設定項目 (1)、設定内容 (2) の順にタッチする。

元の画面に戻る時



- **[戻る]** をタッチするか、選択中の項目をもう一度タッチする。

画面を切り替えるとき



- **[MENU]** をタッチする。





## タッチ操作 クイック設定画面



バーの位置を  
調整するとき



- バーをタッチまたはドラッグする。





## タッチ操作 MENU (メニュー)

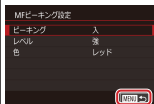


設定するとき



- 系統タブ (1) → ページタブ (2) → 設定項目 (3) → 設定内容 (4) の順にタッチする。

前の画面に戻るとき



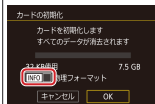
- **[MENU]** をタッチする。

チェックをつける / 外すとき



- チェックボックスをタッチする。

INFOボタンと同じ操作するとき



- **[INFO]** をタッチする。





## タッチ操作 MENU（メニュー）

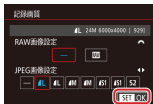


MENUボタン  
と同じ操作を  
するとき



- **[MENU]** をタッチする。

**[SET]** ボタンと  
同じ操作をする  
とき



- **[SET]** をタッチする。





## タッチ操作 見る



1 枚ずつ見るとき



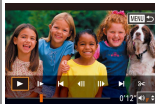
- 次の画像：左にドラッグ
- 前の画像：右にドラッグ

動画を再生するとき



- 再生：[▶] をタッチ
- 音量を調整：再生中に上下に素早くドラッグ

再生中の動画を操作するとき



- 停止：画面をタッチ
- 再開：[▶] をタッチ
- 音量を調整：[🔊] をタッチ

1 枚表示から一覧表示にするとき





## タッチ操作 見る



表示する画像  
の数を減らす  
とき



画像を拡大す  
るとき（約 3  
倍）



- 素早く 2 回タ  
ッチする。

画像を拡大す  
るとき（最大  
10 倍）



拡大した画像  
を縮小すると  
き



- 元の大きさに戻  
すとき： **[MENU]**  
をタッチ





# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



自分撮りに最適な設定で撮る



人を撮る



美肌の効果をつけて撮る



風景を撮る



花や小物を大きく撮る



動きのある被写体を撮る







# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



料理を明るく鮮やかに撮る



三脚を使わずに夜景を撮る



逆光シーンなどで撮る



単色で撮る



優しい雰囲気撮る



魚眼レンズのような効果をつけて撮る



# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



油絵のような画像にする



水彩画のような画像にする



トイカメラのような効果をつけて撮る



ミニチュア模型のように撮る



明暗差の大きいシーンで撮る



## 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）（静止画）



オートモードで撮る（シーンインテリジェントオート）（動画）



プラスムービーオートモードで撮る

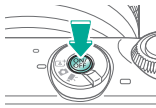


# オートモードで撮る（シーンインテ リジェントオート）（静止画）



1

電源を入れる



2

モードを選ぶ



3

撮りたいもの  
の大きさを決  
める



4

撮影する





# オートモードで撮る（シーンインテ リジェントオート）（動画）



1

電源を入れる



2

モードを選ぶ



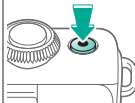
3

撮りたいもの  
の大きさを決  
める



4

撮影をはじめ  
る





## オートモードで撮る（シーンインテリジェント トオート）（動画）



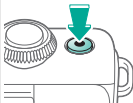
### 5

撮りたいものの  
大きさや、  
構図を変える



### 6

撮影を終える





# プラスムービーオートモードで撮る



静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約 2 ～ 4 秒のシーンも動画として記録されます。1 日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。

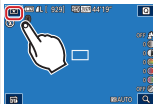
1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



3

構図を決めて、撮影する



● [A] → [OK]



# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



自分撮りに最適な設定で撮る



人を撮る



美肌の効果をつけて撮る



風景を撮る



花や小物を大きく撮る



動きのある被写体を撮る







## 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



料理を明るく鮮やかに撮る



三脚を使わずに夜景を撮る



逆光シーンなどで撮る





# 自分撮りに最適な設定で撮る

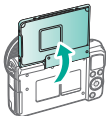


 自分撮り

自分撮りをするときに、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果をかけるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。

1


モニターを開く



2

撮影モードを選ぶ



-  をタッチする。

3

設定する



- 項目をタッチする。



- レベルを選ぶ。





## 自分撮りに最適な設定で撮る



 自分撮り

自分撮りをするときに、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果をかけるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。

---

## 4

撮影する





# 人を撮る



ポートレート

人をやわらかい感じで撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



3

撮影する



● [Portrait] → [OK]



# 美肌の効果をつけて撮る



 美肌

画像処理によって肌がなめらかに見えるような効果  
をかけることができます。

1


モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



●  → [OK]

3

撮影する





# 風景を撮る



 風景

広がりのある風景などを、近くから遠くまでピントを合わせて、空や緑を鮮やかに撮影できます。

1


モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



●  → [OK]

3


撮影する





# 花や小物を大きく撮る



 クローズアップ

花や小物などに近づいて撮影するのに適しています。

1


モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



●  → [OK]

3

撮影する





# 動きのある被写体を撮る



🏄 スポーツ

ピントを合わせながら連続撮影ができます。

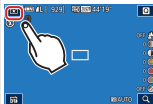
1

モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



3

撮影する



● [🏄] → [OK]





# 料理を明るく鮮やかに撮る



🍴 料理

料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

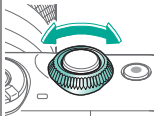
撮影モードを選ぶ



● 🍴 → [OK]

3

色あいを変える





## 料理を明るく鮮やかに撮る



🍴 料理

料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。

---

# 4

撮影する





# 三脚を使わずに夜景を撮る



手持ち夜景

三脚などでカメラを固定しなくても、夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● → [OK]

3


撮影する





# 逆光シーンなどで撮る



 HDR 逆光補正

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします。明るいところと暗いところが混在する風景などでの黒ツブレをおさえることができます。

1


モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



●  → [OK]

3

撮影する





# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



単色で撮る



優しい雰囲気で撮る



魚眼レンズのような効果をつけて撮る



油絵のような画像にする



水彩画のような画像にする



トイカメラのような効果をつけて撮る





## 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



ミニチュア模型のように  
撮る



明暗差の大きいシーンで撮る



ハイダイナミックレンジの  
効果をつける





# 単色で撮る



📷 ラフモノクロ

ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

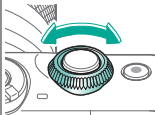
撮影モードを選ぶ



● [📷] → [OK]

3

効果の強さを選ぶ





## 単色で撮る



粗ラフモノクロ

ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

---

# 4

撮影する







# 優しい雰囲気撮る



通常



ソフトフォーカス

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。

1

モードを選ぶ



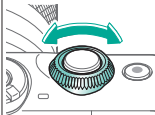
2

撮影モードを選ぶ



3

効果の強さを選ぶ



● [ソフトフォーカス] → [OK]




## 優しい雰囲気撮る



通常



 ソフトフォーカス

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。

---

## 4

撮影する





# 魚眼レンズのような効果をつけて 撮る



魚眼風

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

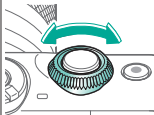
撮影モードを  
選ぶ



● [魚眼風] → [OK]

3

効果の強さを  
選ぶ





## 魚眼レンズのような効果をつけて撮る



 魚眼風

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影できます。

---

# 4

撮影する





# 油絵のような画像にする



油彩風

被写体の立体感を強調して油絵のように撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

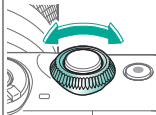
撮影モードを選ぶ



● [油彩風] → [OK]

3

効果の強さを選ぶ





## 油絵のような画像にする



油彩風

被写体の立体感を強調して油絵のように撮影できます。

---

## 4

撮影する





# 水彩画のような画像にする



水彩風

水彩画のようなやわらかい感じの色の画像を撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

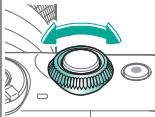
撮影モードを選ぶ



● [ ] → [OK]

3

効果の強さを  
選ぶ





## 水彩画のような画像にする



 水彩風

水彩画のようなやわらかい感じの色の画像を撮影できます。

---

# 4

撮影する








# トイカメラのような効果をつけて 撮る



 トイカメラ風

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1


モードを選ぶ



2

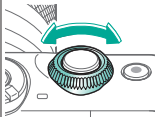
撮影モードを  
選ぶ



●  → [OK]

3

効果を選ぶ





## トイカメラのような効果をつけて撮る



 トイカメラ風

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

---

# 4

撮影する





# ミニチュア模型のように撮る



ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● [ジオラマ風] → [OK]

3

ピントの合う範囲と位置を指定する





## ミニチュア模型のように撮る



ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。



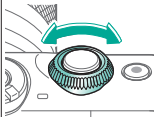
- 枠の大きさを  
変える: [M]



- 枠の位置を変  
える: ▲ / ▼ボタン

4

動画を撮るとき  
は、速さを選ぶ



5


撮影画面に戻  
す





## ミニチュア模型のように撮る



 ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。

---

## 6

撮影する





# 明暗差の大きいシーンで撮る



通常



HDR

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします（ハイダイナミックレンジ）。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● [HDR] → [OK]

3

撮影する





# ハイダイナミックレンジの 効果をつける



ナチュラル



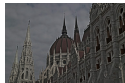
絵画調標準



グラフィック調



油彩調



ビンテージ調

1

モードを選ぶ



2

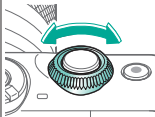
撮影モードを  
選ぶ



● [HDR] → [OK]

3

効果を選ぶ





## ハイダイナミックレンジの効果をつける



ナチュラル



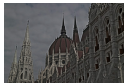
絵画調標準



グラフィック調



油彩調



ビンテージ調

## 4

撮影する







# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



撮影機能を一覧にして設定する



ピント合わせに関する機能を使う➤



明るさに関する機能を使う➤



ストロボに関する機能を使う➤



色に関する機能を使う➤



撮影スタイルにあわせて機能を変える➤



# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



シャッター速度や絞りを決めて撮る ➤



カメラをカスタマイズする ➤



クリエイティブアシスト ➤



# 撮影機能を一覧にして設定する



撮影機能画面を使うと、撮影機能を一覧にして素早くいろいろな機能を設定することができます。

## 1

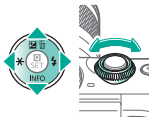
設定画面を表示する




- ▼ ボタンを何度か押す。

## 2

機能を選んで設定する



-  ボタンを押す。

- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンで機能を選ぶ  
→  ダイヤルを回して設定する。



# 撮る

## 明るさに関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



明るさを変える（露出補正）



測光方式を変える



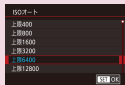
露出 Simulation 機能を使わないようにする



ISO 感度を変える



明るさ（露出）を固定する（AE ロック）



ISO オートの設定を変える





## 撮る

### 明るさに関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



明るさ・コントラストを自動補正する  
（オートライティングオプティマイザ）



明るい被写体を撮影する  
（高輝度側・階調優先）





## 明るさを変える（露出補正）



マイナス側に補正



± 0



プラス側に補正

標準的な露出を 1/3 段ずつ、－ 3 段から＋ 3 段の範囲で補正できます。

1

露出補正の設定  
バーを表示する



2

設定する



- 画面を見ながら  
ダイヤルを  
回す→▲ボタン



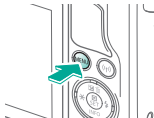
# 露出 Simulation 機能を使わないようにする



撮影される画像に近い明るさで画面に表示されます。そのため、露出補正を行ったときも連動して画面の明るさも変わります。この機能を使わないことで、露出補正によらず撮影しやすい明るさで表示することができます。

1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 1] → [露出 Simulation] → [しない]



# 明るさ(露出)を固定する(AE ロック)



AE ロックなし



AE ロック

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。

1

露出を固定する



- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて、◀ボタンを押す。

2

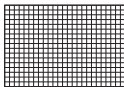
構図を決めて撮影する







# 測光方式を変える



評価測光



部分測光



スポット測光



中央部重点平均測光

1

設定画面を表示する



2

設定する



- → 内容を選ぶ → ボタン



# ISO 感度を変える



低い



高い

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。

1

ISO 感度の設定  
バーを表示する



- **[ISO AUTO]** をタッチする。

2

設定する



- ◀/▶ ボタン → (SET) ボタン



# ISO オートの設定を変える



上限が低い



上限が高い

AUTO にしたときに自動設定される  
ISO 感度の上限を選ぶことができます。

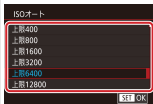
1

メニューを表示  
する



2

設定する



- [カメラ 5] → [ISO 感度設定] → [ISO オート] → 項目を選ぶ → [SET] ボタン



# 明るさ・コントラストを自動補正する (オートライティングオプティマイザ)



Off  
しない



弱め



標準



強め

## 1

設定画面を表示する



## 2

設定する



- [明るさ・コントラスト] → 内容を選ぶ → [SET] ボタン



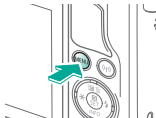
# 明るい被写体を撮影する (高輝度側・階調優先)



高輝度(明るい)側の階調表現性を向上させることで、  
明るい被写体の白トビをおさえることができます。

1

メニューを表示  
する



2

設定する



- [CAMERA 5] → [高輝度側・階調優先] → [する] → [SET] ボタン



## 撮る 色に関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



自然な色あいにする（ホワイトバランス）



マニュアルホワイトバランス



ホワイトバランスを補正する



ホワイトバランスの色温度を設定する



好みの色あいを選ぶ（ピクチャースタイル）



ピクチャースタイルを自分の好みに調整する





## 撮る 色に関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



好みのピクチャースタイルを登録する





# 自然な色あいにする (ホワイトバランス)



太陽光



くもり



白熱電球

ホワイトバランス (WB) は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。

1

設定画面を表示する



2

設定する



- **[AWB]** → 内容を選ぶ → **[SET]** ボタン





# マニュアルホワイトバランス



白を取り込む

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源の下で設定してください。

1

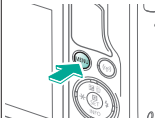
白い被写体を撮影する



- 画面全体に白い無地の被写体が入るようにして、ピントを合わせて撮影する。

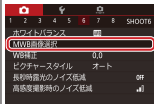
2

メニューを表示する



3

MWB 画像選択画面を表示する





## マニュアルホワイトバランス



白を取り込む

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源の下で設定してください。

### 4

白データを取り込む

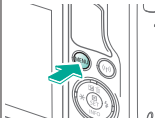
- [カメラ 6] → [MWB 画像選択] → [SET] ボタン



- 手順 1 で撮影した画像を選ぶ  
→ [SET] ボタン → [OK] → [SET] ボタン

### 5

撮影画面に戻す





## マニュアルホワイトバランス



白を取り込む

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源の下で設定してください。

6

設定画面を表示する



7

設定する





# ホワイトバランスを補正する



太陽光で撮影



補正後

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

1

設定画面を表示する



2

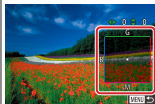
設定する



- **[WB]** → 内容を選ぶ →  ダイアルで調整する。

3

詳細な設定をするとき





## ホワイトバランスを補正する



太陽光で撮影



補正後

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



- MENUボタン  
→▲ / ▼ / ◀ / ▶  
ボタンで調整する→MENUボタン



# ホワイトバランスの色温度を 設定する



ホワイトバランスの色温度を数値で設定することができます。

1

設定画面を表示する



2

項目を選ぶ



● [AWB] → [K] →  
[5200K]

3

設定する



● 内容を選ぶ → [SET]  
ボタン



# 好みの色あいを選ぶ (ピクチャースタイル)



スタンダード



風景

写真表現や被写体にあわせて、好みの色あいをピクチャースタイルとして選べます。ピクチャースタイルは8種類あり、さらに細かく設定することもできます。

1

設定画面を表示する



2

設定する



- [Pict. Style] → 内容を選ぶ → [SET] ボタン



## ピクチャースタイルを自分の好みに調整する



好みにあわせて、ピクチャースタイルのコントラストや色の濃さなどを調整できます。

1

設定画面を表示する



2

ピクチャースタイルを選ぶ



- [PSS] → 内容を選ぶ → [詳細設定]

3

設定する








## ピクチャースタイルを自分の好みに調整する



好みにあわせて、ピクチャースタイルのコントラストや色の濃さなどを調整できます。



- 項目を選ぶ→内容を選ぶ→ボタン



# 好みのピクチャースタイルを登録する



[[P]] [[L]] などの基本スタイルを好みにあわせて調整して、登録できます。シャープネスやコントラストなどの設定が異なる、複数のスタイルを準備できます。

1

設定画面を表示する



2

登録先のピクチャースタイルを選ぶ



● [[A]] → [[1]]  
/ [[2]] / [[3]]  
→ [詳細設定]

3

基本にするピクチャースタイルを選ぶ





[[P]] [[L]] などの基本スタイルを好みにあわせて調整して、登録できます。シャープネスやコントラストなどの設定が異なる、複数のスタイルを準備できます。

## 4

調整する



- ▲ / ▼ ボタンで調整したい内容を選ぶ → ◀ / ▶ ボタンで調整する  
→ [SET] ボタン



# 撮る

## ピント合わせに関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



マニュアルフォーカスで撮る



AF 方式を選ぶ



ピントを微調整する



サーボ AF で撮る



ピント合わせをしやすい表示にする（MF ピーキング）



フォーカス設定を変える





## 撮る

### ピント合わせに関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



ピントを合わせたい被写体  
を選んで撮る（タッチ AF）





# マニュアルフォーカスで撮る



オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

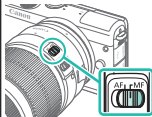
## 1

[MF] を選ぶ  
(EF-M レンズ)



- [カメラアイコン] → [フォーカスモード] → [MF] → [SET] ボタン → MENU ボタン

(EF-M 以外のレンズ)





## マニュアルフォーカスで撮る



オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

### 2

拡大表示する



- [Q] をタッチする。

### 3

ピントを合わせたい部分を選ぶ



- 画面をドラッグしてピントを合わせたい部分を表示する。
- 表示を画面中央に戻すときは▼ボタンを押す。





## マニュアルフォーカスで撮る



オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

4

ピントを合わせる



5

撮影する







# ピントを微調整する



オートフォーカス

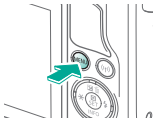


フォーカスリング

EF-M レンズを付けているときは、オートフォーカスのあとに、レンズのフォーカスリングを使ってピントを微調整することができます。

1

メニューを表示する



2

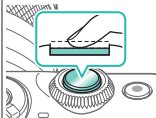
設定する



- [カメラ 3] → [フォーカスモード] → [AF+MF] → [SET] ボタン

3

ピントを合わせる





## ピントを微調整する



オートフォーカス    フォーカスリング

EF-M レンズを付けているときは、オートフォーカスのあとに、レンズのフォーカスリングを使ってピントを微調整することができます。

### 4

ピントを微調整する



- 画面が拡大表示されます。

### 5

撮影する



- シャッターボタンを半押ししたままにする。





# ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)



MF ピーキング切

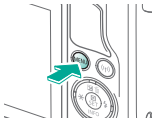


MF ピーキング入

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすいことができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。

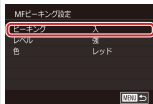
1

メニューを表示  
する

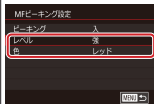


2

設定する



- [カメラ 4] → [MF  
ピーキング設定]  
→ [ピーキング]  
→ [入]





## ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)



MF ピーキング切



MF ピーキング入

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすいことができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。



- ▲ / ▼ボタンで  
項目を選ぶ→▲  
/ ▼ボタンで設定  
する。



## AF 方式を選ぶ



1 点 AF



追尾優先 AF



スムーズ  
ゾーン AF

撮影シーンにあわせて、  
AF（自動ピント合わせ）  
の方法を変えられます。

1

設定画面を  
表示する



2

設定する



- [AF □] → 内容  
を選ぶ → [SET] ボタ  
ン



# サーボ AF で撮る



シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

1

設定画面を表示する



2

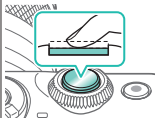
設定する



● [ONE SHOT] →  
[SERVO] → SET ボタン

3

ピントを合わせる





## サーボ AF で撮る



シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンス逃さずに撮影できます。

---

# 4

撮影する





## フォーカス設定を変える



する：動いている  
人やものに

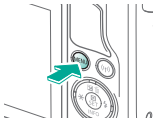


しない：動かない  
ものに

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせます。設定を変えると、シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせるようにすることができます。

1

メニューを表示  
する



2

設定する



- [カメラ 3] → [コンティニュアスAF] → [しない]





# ピントを合わせたい被写体を選んで 撮る（タッチ AF）



AF □



AF d

目的の人の顔や被写体を選んだり、画面  
上の位置を指定してピントを合わせ、撮  
影できます。

1

ピントを合  
わせたい被写  
体をタッチする



2

撮影する





# 撮る

## ストロボに関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



ストロボモードを変える



ストロボの調光量を補正する



FE ロックで撮る



ストロボ発光のタイミングを変える



調光方式を変える



ストロボの発光量を設定する





## 撮る

### ストロボに関する機能を使う



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



ストロボの設定を初期化  
する





## ストロボモードを変える

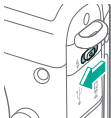


撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。

スローシンクロを使うと、人などの主被写体は明るく撮影され、背景も暗くなるのを軽減できます。

1


ストロボを上げる



2

設定する



- ▶ ボタン→ストロボモードを選ぶ  
→  ボタン



## ストロボの調光量を補正する



マイナス側に補正

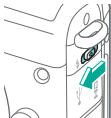


プラス側に補正

ストロボ撮影時の露出を露出補正と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。

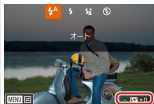
1



ストロボを上げる



2

設定する



- ▶ ボタン →  ダイアルで補正量を選ぶ →  ボタン



## FE ロックで撮る



FE ロック

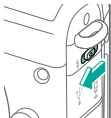


FE ロック未使用  
(露出オーバー)


ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影と同様に固定できます。

1

ストロボを上げる



2

[>] に設定する



●▶ボタン→ []

3

ストロボ露出を固定する



- 露出を固定したい被写体にカメラを向ける→▶ボタン





## FE ロックで撮る



FE ロック



FE ロック未使用  
(露出オーバー)

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影と同様に固定できます。

## 4

構図を決めて  
撮影する





# ストロボ発光のタイミングを変える



先幕で発光

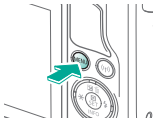


後幕で発光

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。

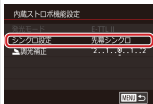
1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 5] → [ストロボ制御] → [内蔵ストロボ機能設定] → [シンクロナイズ] → 項目を選ぶ。





# 調光方式を変える



評価調光

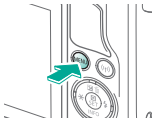


平均調光

ストロボ撮影時、標準的なストロボ露出が得られる「評価調光」で調光されますが、外部調光ストロボのように測光領域全体を平均的に測光するように調光方式を変えることもできます。

1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 5] → [ストロボ制御] → [E-TTL II 調光方式] → [平均調光] → (SET) ボタン



# ストロボの発光量を設定する



📶.00 : 小



📶.11 : 大

【**M** / **Av** / **Tv**】モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1

モードを選ぶ



2

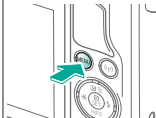
撮影モードを選ぶ



● 【**M** / **Av** / **Tv**】 → [OK]

3

メニューを表示する





## ストロボの発光量を設定する



🔋.00：小



🔋.11：大

【**M** / **Av** / **Tv**】モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

### 4

設定する



### 5

ストロボを上げる



### 6

ストロボ発光量を設定する



- [📷 5] → [ストロボ制御] → [内蔵ストロボ機能設定] → [発光モード] → [マニュアル発光] → **MENU**ボタン



## ストロボの発光量を設定する



: 小



: 大

『**M** / **Av** / **Tv**』モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。



- ▶ボタン→ダイヤルで発光量を選ぶ→ボタン

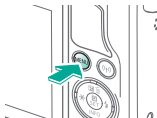


# ストロボの設定を初期化する



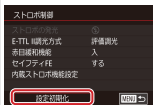
1

メニューを表示する

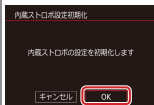


2

設定を初期化する



- [CAMERA] → [ストロボ制御] → [設定初期化]



- [OK] → [SET] ボタン



# 撮る

撮影スタイルにあわせて機能を変える



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



手ブレ補正の設定を変える



動画の手ブレを補正する



レンズの光学特性による影響を補正する



ノイズ低減の強さを変える



マルチショットノイズ低減機能を使う



シャッター速度が遅いときのノイズを低減する



# 手ブレ補正の設定を変える



入

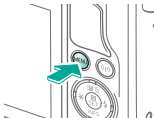


切

手ブレ補正機能のある EF-M レンズを付けているときは、MENU で手ブレ補正を設定できます。

1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 4] → [手ブレ補正設定] → [手ブレ補正] → 項目を選ぶ。



## 動画の手ブレを補正する



する

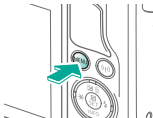


しない

手ブレ補正機能のあるレンズを付けているときは、手ブレ補正を「入」にすると、動画撮影時の手ブレを補正することができます。

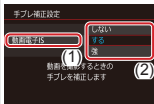
1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 4] → [手ブレ補正設定] → [動画電子 IS] → 項目を選ぶ。





# レンズの光学特性による影響を補正する



周辺光量補正：  
しない

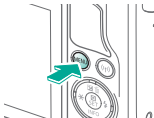


周辺光量補正：  
する

レンズの特性によって、画像の四隅が暗くなったり、被写体の輪郭部分の色がにじんだり、絞りの影響により画像の先鋭さが低下するなどの現象が起こることがあり、これらを補正することができます。

1

メニューを表示  
する



2

設定する



- [カメラ 4] → [レンズ光学補正] → 項目を選ぶ。
- [補正データあり] が表示されていることを確認する。



- 項目を選ぶ → [SET] ボタン



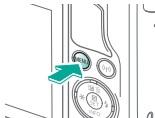
# ノイズ低減の強さを変える



ノイズ低減の強さを「弱め」「標準」「強め」の3種類から選べます。特に高いISO感度で撮影するときには有効です。

1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 6] → [高感度撮影時のノイズ低減] → 項目を選ぶ → [SET] ボタン



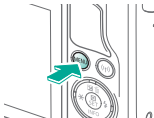
# マルチショットノイズ低減機能を使う



1 回の撮影で 4 枚連続撮影して自動的に画像合成を行うことで、ノイズを低減することができます。[高感度撮影時のノイズ低減] の [強め] と比べ、より高画質に撮影することができます。

1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 6] → [高感度撮影時のノイズ低減] → [NR] → [SET] ボタン



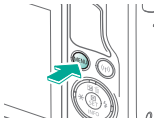
# シャッター速度が遅いときのノイズを低減する



シャッター速度が1秒またはそれより遅いときに、長秒時露光で発生するノイズを低減できます。

1

メニューを表示する



2

設定する



- [カメラ 6] → [長秒時露光のノイズ低減] → 項目を選ぶ → ボタン



## 撮る

シャッター速度や絞りを決めて撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



シャッター速度を決めて撮る  
(Tvモード)



絞り数値を決めて撮る  
(Avモード)



明るさ（露出）を決めて撮る（M  
モード）



長時間露光（バルブ）撮  
影



シャッター速度と絞り数  
値を決めて動画を撮る



# シャッター速度を決めて撮る (Tv モード)



遅い



速い

シャッター速度を目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッター速度に応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



3

設定する



● [Tv] → [OK]



●  ダイヤルを回す。





## シャッター速度を決めて撮る (Tv モード)



遅い



速い

シャッター速度を目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッター速度に応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。

## 4

撮影する





# 絞り数値を決めて撮る (Av モード)



小



大

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッター速度を設定します。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



3

設定する



● **[Av]** → [OK]



●  ダイヤルを回す。







## 絞り数値を決めて撮る（Av モード）



小



大

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッター速度を設定します。

---

## 4

撮影する





# 明るさ（露出）を決めて撮る (M モード)



シャッター速度と絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● **[M]** → [OK]

3

ISO 感度を設定する



● **[ISO] AUTO** →  
ISO 感度を選ぶ。





## 明るさ（露出）を決めて撮る（Mモード）



シャッター速度と絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

### 4

シャッター速度を設定する




●  ダイヤルを回す。

### 5

絞り数値を設定する



● ▲ボタン→  ダイヤルを回す。

### 6

撮影する





# 長時間露光（バルブ）撮影



バルブ撮影は、シャッターボタンを全押ししている間だけ露光を行う機能です。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



3

設定する



● **[M]** → [OK]





## 長時間露光（バルブ）撮影




バルブ撮影は、シャッターボタンを全押ししている間だけ露光を行う機能です。

### 4

撮影する



-  ダイヤルでシャッター速度を [BULB] に設定する。





# シャッター速度と絞り数値を決めて 動画を撮る



マニュアル動画

シャッター速度、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● [M] → [OK]

3

ISO 感度を設定する



● ▲ボタン → 歯車アイコンを回す。





## シャッター速度と絞り数値を決めて動画を撮る




マニュアル動画

シャッター速度、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。

4

シャッター速度を設定する




● ▲ ボタン →   
ダイヤルを回す。

5

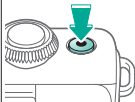
絞り数値を設定する



● ▲ ボタン →   
ダイヤルを回す。

6

撮影する



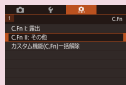


# 撮る

## カメラをカスタマイズする



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



カメラの詳細機能を設定する



クイック設定画面に表示する項目を変える



クイック設定画面の項目を並べ換える





# カメラの詳細機能を設定する

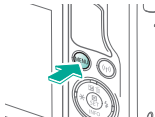


MENU の [📷 1] タブでは、撮影スタイルに応じて、カメラの機能を細かく変更できます。

また、よく使う機能をボタンに登録することができます。

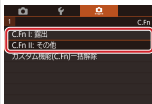
1

メニューを表示する



2

機能の分類を選ぶ



● [📷 1] → 項目を選ぶ → [SET] ボタン

3

機能を選ぶ



● 機能を選ぶ → [SET] ボタン

4

内容を選ぶ



● 内容を選ぶ → [SET] ボタン

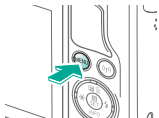


# クイック設定画面に表示する項目を変える



1

メニューを表示する



2

表示するアイコンを選ぶ



- [カメラアイコン] → [クイック設定カスタマイズ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [OK] → [SET] ボタン

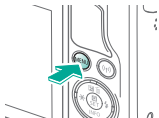


# クイック設定画面の項目を 並べ換える



1

メニューを表示する



- [カメラ 2] → [クイック設定カスタマイズ] → ボタン

2

アイコンを並べ換える



- [並べ換え] をタッチする。



- アイコンを選ぶ  
→ ボタン → ▲ / ▼ ボタンで入れたい場所を選ぶ → ボタン  
→ MENU ボタン






## クイック設定画面の項目を 並べ換える



### 3

設定する



- [OK] →  ボタン





# 撮る

## クリエイティブアシスト



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）



クリエイティブアシストの設定を登録する



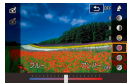
クリエイティブアシストの設定を読み込む



クリエイティブアシストで撮影した画像の設定を使う



# 好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）



背景をぼかしたり明るさを変えたりして、自分好みの設定で写真を撮ることができます。  
好みの設定を登録して読み込んだり、**[★]** モードで撮影された画像から、設定を反映して撮影することもできます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● **[★]** → **[OK]**

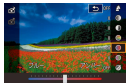
3

設定画面を表示する





## 好みの設定で撮る（クリエイティブアシスト）



背景をぼかしたり明るさを変えたりして、自分好みの設定で写真を撮ることができます。  
好みの設定を登録して読み込んだり、[★] モードで撮影された画像から、設定を反映して撮影することもできます。

### 4

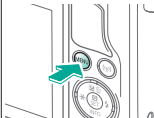
設定する



- ▲ / ▼ ボタンで項目を選ぶ → ◀ / ▶ ボタンで設定する。

### 5

撮影画面に戻す



### 6

撮影する





# クリエイティブアシストの設定を 登録する



1

モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



● [カメラ] → [OK]

3

設定画面を表  
示する







## クリエイティブアシストの設定を登録 する



# 4

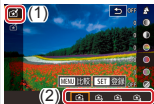
設定する



- ▲ / ▼ ボタンで  
項目を選ぶ → ◀  
/ ▶ ボタンで設定  
する → (SET) ボタン

# 5

登録する



- [★] → 内容を選  
ぶ → (SET) ボタン

# 6

撮影画面に戻  
す



- [OK] → (SET) ボタ  
ン





# クリエイティブアシストの設定を 読み込む



1

モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



● [カメラ] → [OK]

3

設定画面を表  
示する





## クリエイティブアシストの設定を 読み込む



### 4

設定を読み込む



- [★] → 内容を選ぶ  
→ (SET) ボタン





# クリエイティブアシストで撮影した 画像の設定を使う



1

モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



● [カメラアイコン] → [OK]

3

再生モードに  
する





## クリエイティブアシストで撮影した画像の 設定を使う



### 4

〔★〕モードの  
画像を選ぶ



- 画像を選ぶ → 〔★〕ボタン

### 5

設定を反映す  
る



- 〔★〕 → 〔SET〕ボタン





# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



動画を撮る



明るさを固定したり変えて撮る



オートスローシャッターを使わない



タイムラプス動画を撮る（タイムラプス動画）



録音レベル（録音音量）を設定する



ウィンドカットを使わない





## 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



アッテネーターを使う





# 動画を撮る



[] モードでは、いろいろな効果や機能を使用して、動画を撮影できます。

1

モードを選ぶ



2

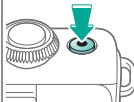
撮影モードを選ぶ



● [] → [OK]

3

撮影をはじめ  
る







## 動画を撮る

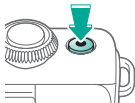


「」モードでは、いろいろな効果や機能を使用して、動画を撮影できます。

---

## 4

撮影を終える





# 明るさを固定したり変えて撮る



マイナス



プラス

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で変えられます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを選ぶ



● [動画] → [OK]

3

露出を固定する





## 明るさを固定したり変えて撮る



マイナス



プラス

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で変えられます。

### 4

露出を変える



### 5

撮影する



- ▲ ボタン → 画面  
を見ながらダイヤルを回す。



# オートスローシャッターを使わない



ぎこちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなる場合があります。

1

モードを選ぶ



2

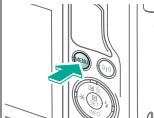
撮影モードを選ぶ



● [動画] → [OK]

3

メニューを表示する





## オートスローシャッターを使わない



ぎこちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなることがあります。

## 4

### 設定する



- [カメラ 8] → [オートスローシャッター] → [SET] ボタン



- [しない] → [SET] ボタン



# タイムラプス動画を撮る (タイムラプス動画)



一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。

1

モードを選ぶ



2

撮影モードを  
選ぶ



● [タイムラプス] → [OK]

3

設定する





## タイムラプス動画を撮る (タイムラプス動画)



一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。

### 4

カメラを固定  
して撮影する



- 項目を選ぶ→  
内容を選ぶ  
→MENUボタン





# 録音レベル（録音音量）を設定する



録音の音量を  
変える

「オート」では録音レベル（録音音量）が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。

1

モードを選ぶ



2

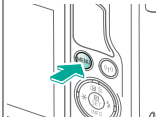
撮影モードを  
選ぶ



● [録音] → [OK]

3

メニューを表  
示する







## 録音レベル（録音音量）を設定する



録音の音量を  
変える

［オート］では録音レベル（録音音量）が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。

### 4

設定する



- [カメラ 8] → [録音]  
→ [SET] ボタン



- [録音] → [マニュアル] → [SET] ボタン







## 録音レベル（録音音量）を設定する



録音の音量を  
変える

［オート］では録音レベル（録音音量）が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。

### ● [録音レベル]

→  ボタン → ◀  
/ ▶ ボタンで設定  
する →  ボタン





# ウィンドカットを使わない



ウィンドカットは、風が強いときに発生する雑音を低減できる機能です。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときに、ウィンドカットを使わないようにできます。

1

モードを選ぶ



2

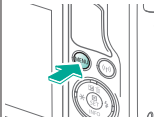
撮影モードを選ぶ



● [動画] → [OK]

3

メニューを表示する





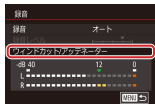
## ウィンドカットを使わない



ウィンドカットは、風が強いときに発生する雑音を低減できる機能です。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときに、ウィンドカットを使わないようにできます。

## 4

### 設定する



- [カメラ 8] → [録音] → [ウィンドカット/アッテネーター] → [SET] ボタン



- [ウィンドカット] → [切] → [SET] ボタン



# アッテネーターを使う



大音響の環境で  
撮影

【オート】では撮影シーンにあわせてアッテネーターを自動的に入れたり切ったりして、音割れを軽減します。アッテネーターは【入】または【切】に設定することもできます。

1

モードを選ぶ



2

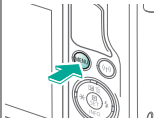
撮影モードを  
選ぶ



● [動画] → [OK]

3

メニューを表  
示する





## アッテネーターを使う

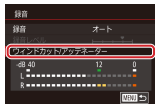


大音響の環境で  
撮影

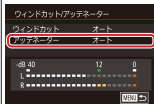
【オート】では撮影シーンにあわせてアッテネーターを自動的に入れたり切ったりして、音割れを軽減します。アッテネーターは【入】または【切】に設定することもできます。

### 4

#### 設定する



- [カメラ 8] → [録音] → [ウィンドカット/アッテネーター] → (SET) ボタン



- [アッテネーター] → 項目を選ぶ → (SET) ボタン



# 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



セルフタイマーを使う



セルフタイマーを使って  
手ブレを防ぐ



セルフタイマーの設定を  
変える



画面をタッチして撮る  
（タッチシャッター）



連続して撮る



記録画質を変える





## 撮る



サンプル写真から選ぶ	カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



RAW 画像を記録する



縦横比（アスペクト比）  
を変える



動画の画質を変える







# セルフタイマーを使う



シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写るときなどに使います。

1

設定画面を表示する



2

設定する



- [Coff] → [C10]  
→ [SE] ボタン

3

撮影する





# セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ



シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影されます。シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。

1

設定画面を表示する



2

設定する



- [C Off] → [C 2]  
→ [SET] ボタン

3

撮影する





# セルフタイマーの設定を変える



撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。

1

設定画面を表示する



2

設定する



- [C Off] → [C C]  
→ MENU ボタン



- 時間または枚数  
を選ぶ → ◀ / ▶ ボタン  
で数値を選ぶ → MENU ボタン





## セルフタイマーの設定を変える



撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。

---

### 3

撮影する





# 画面をタッチして撮る（タッチシャッター）



シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチして撮影します。  
被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。

## 1

設定する



- [OFF] をタッチして [ON] にする。

## 2

撮影する





# 連続して撮る



「**[A+]**」モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

1

モードを選ぶ



2

設定画面を表示する



3

設定する



● [A+] → [SET] ボタン

4

撮影する





## 連続して撮る



〔A<sup>+</sup>〕モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。



- シャッターボタンを全押ししたままにする。



# 記録画質を変える



	2400 万画素 / 高画質		約 1060 万画素 / 高画質		約 590 万画素 / 高画質		約 380 万画素 / 標準画質
	2400 万画素 / 標準画質		約 1060 万画素 / 標準画質		約 590 万画素 / 標準画質		

1

設定画面を表示する



2

項目を選ぶ



- → 内容を選ぶ → ボタン





# RAW 画像を記録する



このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

RAW 画像とは、カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」のことです。

1

設定画面を表示する



2

項目を選ぶ



- [RAW] を選ぶ。

3

設定する



- RAW 画像だけを記録：[RAW] を選ぶ。





## RAW 画像を記録する



このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

RAW 画像とは、カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」のことです。



- JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録：JPEG の記録画質を選ぶ→**MENU**ボタンで [RAW] に [✓] をつける。



# 縦横比（アスペクト比）を変える



16:9



3:2



4:3



1:1

1

設定画面を表示する



2

項目を選ぶ



- **[3:2]** → 内容を選ぶ → ボタン



## 動画の画質を変える



動画の画質（画像サイズとフレームレート）を設定できます。フレームレートとは 1 秒間に何コマ記録するかのこと、ビデオ方式の設定にあわせて選択できる項目が変わります。

1

設定画面を表示する



2

項目を選ぶ



- [FHD 29.97P] → 内容を選ぶ → [SET] ボタン



# 再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



静止画を見る



拡大して見る



スライドショーで見る



動画を見る



短編動画（ダイジェスト  
動画）を見る



# 静止画を見る



撮影した静止画を画面で見ることができます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



- ▶ボタン：次の画像
- ◀ボタン：前の画像



# 拡大して見る



画像を拡大したり縮小したりして、見ることができます。

1

再生モードにする



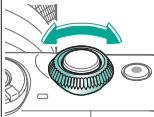
2

画像を選ぶ



3

拡大／縮小する



4

表示を変える





## 拡大して見る



画像を拡大したり縮小したりして、見ることができます。



- 表示位置移動：  
▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン
- 画像切り換え：  
Ⓢ ボタン →  
◀ / ▶ ボタン





# スライドショーで見る



カードに記録されている画像を自動的に再生します。

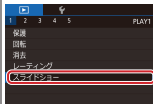
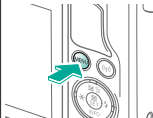
1

再生モードにする



2

メニューを表示する



● [▶ 1] → [スライドショー] → [SET]ボタン

3

スライドショーを見る



● [スタート] → [SET]ボタン



## 動画を見る



撮影した動画を画面で見ることができます。  
動画では、**[SET▶]** が表示されます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



- ▶ボタン：次の画像
- ◀ボタン：前の画像



3

動画を再生する





## 動画を見る



撮影した動画を画面で見ることができます。  
動画では、**[SET▶]** が表示されます。

## 4

音量を調整する



● **[▶]** → **[SET]** ボタン





# 短編動画（ダイジェスト動画）を 見る



【A】モードで静止画を撮影すると短編動画（ダイジェスト動画）が作成されます。ダイジェスト動画は、作成された日にちごとに再生されます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



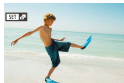
3


動画を再生する

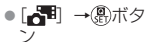




## 短編動画（ダイジェスト動画）を見る



「」モードで静止画を撮影すると短編動画（ダイジェスト動画）が作成されます。ダイジェスト動画は、作成された日にちごとに再生されます。





再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



一覧表示（インデックス表示）で探す



指定した条件で画像を探す



電子ダイヤルで画像を探す



# 一覧表示（インデックス表示）で 探す



複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。

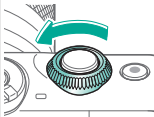
1

再生モードにする



2

一覧表示にする



3

画像を選ぶ





## 指定した条件で画像を探す



カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

1

再生モードにする



2

設定画面を表示する



3

条件を選ぶ



● [👁️] → [SET] ボタン  
ン







## 指定した条件で画像を探す



カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

## 4

### 画像を見る



- 条件を選ぶ。
- [★ / ☑ / 📷] を選んだときは 2 つ目の条件を選ぶ。



- 黄色の枠つきで表示されます。



# 電子ダイヤルで画像を探す



電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像を飛ばして、目的の画像を素早く探せます。

1

再生モードにする



2

条件を選ぶ



- 1枚表示の状態  
2本の指で左右  
にドラッグする。





## 電子ダイヤルで画像を探す

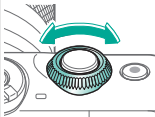


電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像を飛ばして、目的の画像を素早く探せます。

### 3

画像を見る

- 検索条件が表示されているときに、▲ / ▼ ボタンで条件を選ぶ。





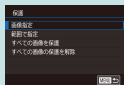
再生する



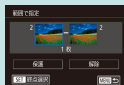
見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



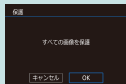
1 枚ずつ保護する



1 枚ずつ指定してまとめて保護する



範囲で指定して保護する



すべての画像を保護する



お気に入り設定をする  
(レーティング)



## 1 枚ずつ保護する



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、画像を 1 枚ずつ保護することができます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

保護する



● [ON] → [OFF]  
→ SET ボタン



# 1 枚ずつ指定してまとめて保護する



画像を 1 枚ずつ選んで、まとめて保護することができます。

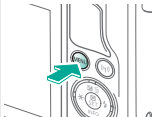
1

再生モードにする



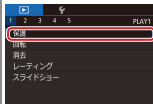
2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ



● [▶ 1] → [保護]  
→ [SET] ボタン



● [画像指定] → [SET] ボタン





## 1 枚ずつ指定してまとめて保護する



画像を 1 枚ずつ選んで、まとめて保護することができます。

### 4

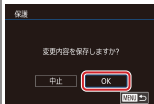
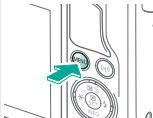
画像を選ぶ



- 画像を選ぶ  
→ ボタン

### 5

保護する



- [OK] → ボタン



# 範囲で指定して保護する



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、画像の範囲を指定して、保護することができます。

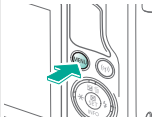
1

再生モードにする



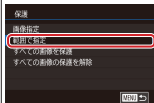
2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ



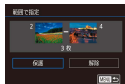
- [▶ 1] →
- [保護] →
- [範囲で指定]
- [SET] ボタン







## 範囲で指定して保護する



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、画像の範囲を指定して、保護することができます。

### 4

始点の画像を指定する



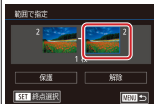
- [始点選択] →
- ボタン



- 画像を選ぶ →
- ボタン

### 5

終点の画像を指定する



- [終点選択] →
- ボタン



- 画像を選ぶ →
- ボタン



## 範囲で指定して保護する



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、画像の範囲を指定して、保護することができます。

## 6

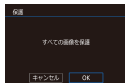
### 保護する



- ▼ボタン → [保護] →  ボタン



# すべての画像を保護する



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、すべての画像を保護することができます。

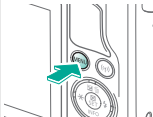
1

再生モードにする



2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ

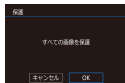


- [▶] 1] → [保護] → [すべての画像を保護] → [設定] ボタン





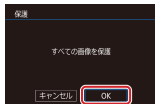
## すべての画像を保護する



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、すべての画像を保護することができます。

## 4

設定する



● [OK] → (SET) ボタン  
ン



# お気に入り設定をする (レーティング)



6段階でお気に入りのレベル（レーティング）を設定して、撮影した画像を分類できます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

設定する



- [★] → レベルを選ぶ → SET ボタン



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



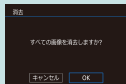
1 枚ずつ消す



1 枚ずつ指定してまとめて消す



範囲を指定して消す



すべての画像を消す



# 1 枚ずつ消す



不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻せないなので十分に確認してから消してください。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



3

消す



● [消去] → [SET] ボタン



# 1 枚ずつ指定してまとめて消す



画像を 1 枚ずつ選んで、まとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないの十分に確認してから消してください。

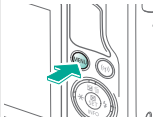
1

再生モードにする



2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ



- [▶ 1] →
- [消去] →
- [画像指定] → [SET]
- ボタン







## 1 枚ずつ指定してまとめて消す




画像を 1 枚ずつ選んで、まとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないの十分に確認してから消してください。

### 4

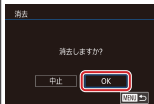
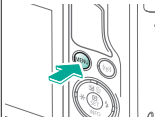
画像を選ぶ




- 画像を選ぶ →  ボタンで [✓] をつける。

### 5

消す



- [OK] →  ボタン



# 範囲を指定して消す



範囲を指定して、画像を消すことができます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。

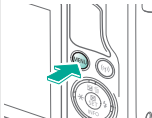
1

再生モードにする



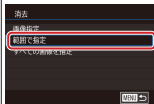
2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ

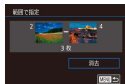


- [▶ 1] →
- [消去] →
- [範囲で指定]
- [SET] ボタン





## 範囲を指定して消す



範囲を指定して、画像を消すことができます。消した画像は元に戻せないなので十分に確認してから消してください。

### 4

始点の画像を指定する



- [始点選択] → ボタン



- 画像を選ぶ → ボタン

### 5

終点の画像を指定する



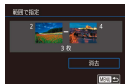
- [終点選択] → ボタン



- 画像を選ぶ → ボタン



## 範囲を指定して消す



範囲を指定して、画像を消すことができます。消した画像は元に戻せないなので十分に確認してから消してください。

## 6

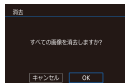
消す



- ▼ボタン → [消去] → ボタン



# すべての画像を消す



すべての画像を一括で消すことができます。消した画像は元に戻せないなので十分に確認してから消してください。

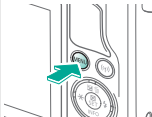
1

再生モードにする



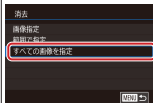
2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ

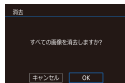


- [▶ 1] →
- [消去] →
- [すべての画像を指定] → ボタン





## すべての画像を消す

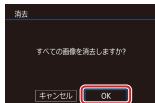



すべての画像を一括で消すことができます。消した画像は元に戻せないなので十分に確認してから消してください。

---

# 4

消す



● [OK] →  ボタン  
ン



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



画像を回転する



画像を小さくする（リサイズ）



画像を切り抜く（トリミング）



画像にフィルター効果をつける



赤目を補正する



# 画像を回転する



画像の向きを変えて保存することができます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

項目を選ぶ



-  を選ぶ。







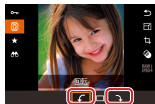
## 画像を回転する



画像の向きを変えて保存することができます。

# 5

## 回転する



● [左向き / 右向き] → [SET]  
ボタン



## 画像を小さくする（リサイズ）



撮影した画像の画素数を少なくして、別画像として保存できます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



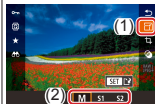
3

設定画面を表示する



4

項目を選ぶ



- [ ] → 内容を選ぶ → [SET] ボタン





## 画像を小さくする（リサイズ）



撮影した画像の画素数を少なくして、別画像として保存できます。

### 5

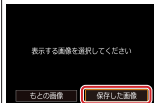
新規保存する



- [OK] → ボタン

### 6

画像を確認する



- [保存した画像] → ボタン



# 画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

項目を選ぶ



● [ ] → [SET] ボタン





## 画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

### 5

#### トリミング範囲を設定する



- 枠の大きさを変更：  
2本の指で画面をタッチして指の間隔を広げる／縮める
- 枠を移動：  
▲／▼／◀／▶ボタン
- 枠の縦／横を変更：  
ギアアイコンでダイヤルで [ ] → [ ] ボタン
- 縦横比を変更：  
ギアアイコンでダイヤルで [ ] → [ ] ボタン

### 6

#### イメージを確認する









## 画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

### 7


新規保存する

-  ダイヤルで  →  ボタン
-  ボタンを押すたびに表示が切り換わります。



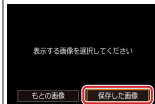
-  ダイヤルで  →  ボタン



- [OK] →  ボタン

### 8

画像を確認する



- [保存した画像] →  ボタン



## 画像にフィルター効果をつける



[ / / / / / / ] モードで撮影したときと同じような効果をつけて、別画像として保存できます。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

効果を選ぶ



- [] → 内容を選ぶ → ボタン





## 画像にフィルター効果をつける



[ / / / / / / ] モードで撮影したときと同じような効果をつけて、別画像として保存できます。

### 5

効果の詳細を設定する



- ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンや ダイヤルで設定する  
→ ボタン

### 6

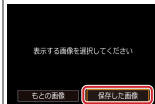
新規保存する



- [OK] → ボタン

### 7

画像を確認する



- [保存した画像] → ボタン





# 赤目を補正する



目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画像として保存できます。

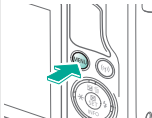
1

再生モードにする



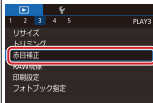
2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ



● [▶] 3] → [赤目補正] → [SET] ボタン





## 赤目を補正する



目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画像として保存できます。

4

画像を選ぶ



5

補正する



● ボタンを押す。

6

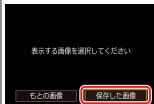
新規保存する



● [新規保存] → ボタン

7

画像を確認する





## 赤目を補正する



目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画像として保存できます。



- MENUボタン→  
[保存した画像]  
→ボタン



## 再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



RAW 画像を現像する



現像方法を設定して RAW  
画像を現像する



# RAW 画像を現像する



RAW で撮影した画像をカメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。

1

再生モードにする



2

RAW 画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

項目を選ぶ



● [RAW] → [RAW]  
→ ボタン





## RAW 画像を現像する



RAW で撮影した画像をカメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。

### 5

保存する



- [OK] → ボタン

### 6

画像を確認する



- [保存した画像] → ボタン



# 現像方法を設定して RAW 画像 を現像する



RAW で撮影した画像を現像方法を細かく設定して、カメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。

1

再生モードにする



2

RAW 画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

項目を選ぶ



● [RAW] → [RAW]  
→ [SET] ボタン





## 現像方法を設定して RAW 画像を現像する



RAW で撮影した画像を現像方法を細かく設定して、カメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。

### 5

現像方法を設定する



- 項目を選ぶ →

### 6

保存する



- 内容を選ぶ →

- → ボタン  
→ [OK] → ボタン







## 現像方法を設定して RAW 画像を現像する

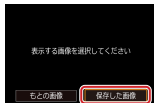


RAW で撮影した画像を現像方法を細かく設定して、カメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。

---

# 7

## 画像を確認する



- [保存した画像]

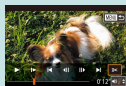
→  ボタン



## 再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	RAW 画像をカメラで現像する
動画を編集する		



動画の前後を削除する



ファイルサイズを小さくする



ダイジェスト動画を編集する



## 動画の前後を削除する



撮影した動画の前後を削除できます。ただし、ダイジェスト動画の前後は、削除できません。

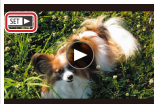
1

再生モードにする



2

動画を選ぶ



- 動画を選ぶ → (SET) ボタン

3

再生してから  
一時停止する



- [▶] → (SET) ボタン  
→ 再生中に (SET) ボタン





## 動画の前後を削除する



撮影した動画の前後を削除できます。ただし、ダイジェスト動画の前後は、削除できません。

### 4

項目を選ぶ



- [✂] → [設定] ボタン

### 5

編集範囲を指定する



- [✂] / [7%] → [◀] / [▶] ボタンで [◀] / [▶] を動かす。
- [✂] が表示されます。

- [✂] を選ぶと [7%] 位置より前部、[7%] を選ぶと後部が削除されます。





## 動画の前後を削除する



撮影した動画の前後を削除できます。ただし、ダイジェスト動画の前後は、削除できません。

# 6

編集した動画  
を確認する



● [▶] → [SET] ボタン

# 7

保存する



● [📁] → [SET] ボタン



● [新規保存] → [SET] ボタン



● [圧縮せず新規保存] → [SET] ボタン



# ファイルサイズを小さくする



動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。

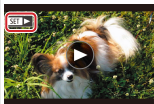
1

再生モードにする



2

動画を選ぶ



- 動画を選ぶ →

3

再生してから一時停止する



- → ボタン  
→ 再生中に ボタン





## ファイルサイズを小さくする



動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。

### 4

項目を選ぶ



● [圧縮] → [SET] ボタン

### 5

項目を選ぶ



● [新規保存] → [SET] ボタン

### 6

保存する



● [新規保存] → [SET] ボタン



● [圧縮して新規保存] → [SET] ボタン



## ダイジェスト動画を編集する



【A】モードで作成されたチャプターを1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。

1

再生モードにする



2

画像を選ぶ



- 【SET】の画像を選ぶ→【SET】ボタン







## ダイジェスト動画を編集する



[A] モードで作成されたチャプターを1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。

### 3

再生してから  
一時停止する



- [A] → [SET] ボタン → 再生中に [SET] ボタン

### 4

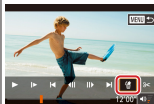
チャプターを選  
ぶ



- [A] / [A] → [SET] ボタン

### 5

[A] を選ぶ



- [A] → [SET] ボタン



【A】モードで作成されたチャプターを1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。

## 6

消す



● [OK] → (SET) ボタン  
ン



# 無線機能



無線機能でできること



NFC 対応のスマートフォン  
に画像を送る



再生モードで NFC 対応のス  
マートフォンに画像を送る



Bluetooth 対応のスマート  
フォンに画像を送る



Web サービスの情報を登録する  
CANON iMAGE GATEWAY



Web サービスの情報を登録する  
ほかの Web サービス



Web サービスに画像を  
送る



# 無線機能でできること



## Wi-Fi 機能

スマートフォン、タブレット端末

Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。

Web サービス

CANON iMAGE GATEWAY やいろいろな Web サービスにカメラ内の画像を送信できます。

## Bluetooth<sup>®</sup> 機能

Bluetooth low energy technology（以降は「Bluetooth」と記載）に対応しているスマートフォンとかんたんに接続できます。

スマートフォンをリモコン代わりにして、撮影や再生の操作をすることができます。





## 無線機能でできること



### メディアプレーヤー

DLNA\* 対応のテレビなどで画像を見ることができます。

\*Digital Living Network Alliance

### プリンター

Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。

### 別のカメラ

キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送受信できます。

これらの 3 つの操作方法については「カメラガイド」を参照してください。





# NFC 対応のスマートフォンに画像を送る



1

電源を入れる

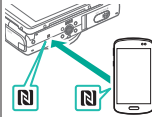


2

Camera Connect をインストールする



- NFC 機能を有効にする。



- **N** マーク同士をタッチする。
- スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。



- Camera Connect をダウンロードしてインストールする。



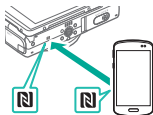


# NFC 対応のスマートフォンに画像を送る



## 3

接続する



- **N** マーク同士をタッチする。

## 4

公開設定する



- [OK] → **SET** ボタン
- スマートフォンで Camera Connect が起動し、カメラと自動で接続されます。

## 5

画像を送る



- [すべての画像] → **SET** ボタン



- 画像を選ぶ → [この画像を送信] → **SET** ボタン





## 6

接続を切る







# 再生モードで NFC 対応のスマートフォンに画像を送る



1

再生モードにする

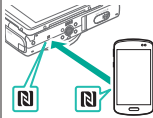


2

Camera Connect をインストールする



- NFC 機能を有効にする。



- **N** マーク同士をタッチする。
- スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。



- Camera Connect をダウンロードしてインストールする。



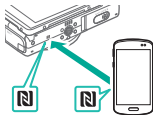


## 再生モードで NFC 対応のスマートフォンに画像を送る



### 3

接続する



- **N** マーク同士をタッチする。

### 4

画像を選ぶ



- [OK] → **SET** ボタン
- スマートフォンで Camera Connect が起動し、カメラと自動で接続します。



- 画像を選ぶ → **SET** ボタンで [✓] をつける。
- **MENU** ボタン → [OK] → **SET** ボタン

### 5

画像を送る



- [送信] → **SET** ボタン





再生モードで NFC 対応のスマートフォンに画像  
を送る



# 6

接続を切る

- MENUボタン→  
[OK]





# Bluetooth 対応のスマートフォンに 画像を送る



1

Camera  
Connect をイ  
ンストールする



- App Store/  
Google Play  
から Camera  
Connect をダウ  
ンロードし、イン  
ストールする。

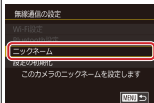
2

電源を入れる



3

ニックネームを  
登録する



- **MENU**ボタン→  
[F4] → [無線通  
信の設定] → [ニッ  
クネーム] → ボ  
タン

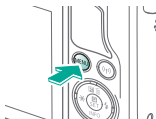


- ニックネームを入  
力→**MENU**ボタ  
ン





## Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る



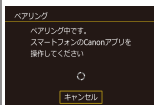
- [無線通信の設定] 画面に戻ります。

### 4

ペアリングができる状態にする



- [Bluetooth 設定] → [ペアリング] → ボタン



- 接続待機の状態になります。

### 5

Camera Connect を起動する



- Bluetooth を有効にする。
- Camera Connect を起動する。





## Bluetooth 対応のスマートフォンに画像を送る



6

接続するカメラを選ぶ



- スマートフォンを操作する。

7

ペアリングを完了する



- [OK] → ボタン



- ボタンを押す。

8

画像を取り込む



- スマートフォンを操作する。





# Webサービスの情報を登録する

## CANON IMAGE GATEWAY



1

Wi-Fi メニュー  
を表示する



- [ニックネームの登録] 画面が表示されたとき：  
[OK] →

2

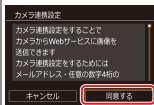
[] を選ぶ



- [] → ボタン

3

メールアドレス  
入力許諾に  
同意する



- [同意する] → ボタン





# Webサービスの情報を登録する CANON IMAGE GATEWAY




## 4


アクセスポイントの接続方法を選ぶ



(a)WPS 接続するとき

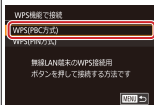
- [WPS 機能で接続] →  ボタン → 手順 5 (A)

(b) 一覧から選ぶとき

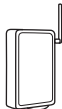
- アクセスポイントを選ぶ →  ボタン → 手順 5 (B)

## 5

(A) 接続する



- [WPS (PBC 方式)] →  ボタン



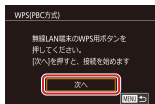
- アクセスポイントの WPS 接続用ボタンを数秒間押したままにする。





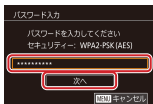


# Webサービスの情報を登録する CANON iMAGE GATEWAY



- (SET) ボタンを押す。

## (B) 接続する



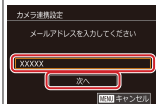
- (SET) ボタン→パスワードを入力→[次へ] → (SET) ボタン



- [自動] → (SET) ボタン

## 6

## メールアドレスを入力する



- (SET) ボタン→メールアドレスを入力→[次へ] → (SET) ボタン



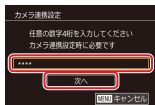


# Webサービスの情報を登録する CANON IMAGE GATEWAY



## 7

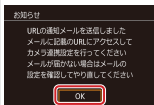
4桁の数字を入力する



- [SET] ボタン → 任意の数字4桁を入力 → [次へ] → [SET] ボタン
- この数字は手順9で必要になります。

## 8

メールが送信されたことを確認する



- 手順6で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 確認画面で [SET] ボタンを押す。

## 9

カメラ連携の設定をする



- [cloud icon] が [cloud icon] になります。

- パソコン/スマートフォンから通知メールのURLにアクセスし、案内にしたがって設定する。





# Webサービスの情報を登録する CANON iMAGE GATEWAY



- [cloud icon] → [SET] ボタン
- [laptop icon] と  
CANON iMAGE  
GATEWAY が送  
信先として追加  
されます。



## Webサービスの情報を登録する ほかの Web サービス



1

設定画面を表示する



- パソコン / スマートフォンで、CANON IMAGE GATEWAY サイト「<http://www.canon.com/cig/>」へアクセスする。

2

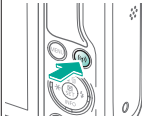
利用する Web サービスを設定する



- 画面の指示にしたがって設定する。

3

Wi-Fi メニューを表示する



- [Cloud with refresh icon] → [SET] ボタン
- Web サービスの設定が更新されます。



# Web サービスに画像を送る



1

Wi-Fi メニュー  
を表示する



2

接続先を選ぶ



- アイコンを選ぶ  
→ [SET] ボタン
- [送信先の選択]  
画面が表示され  
たとき：項目を選  
ぶ → [SET] ボタン

3

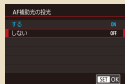
画像を送る



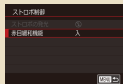
- 画像を選ぶ → [こ  
この画像を送信]  
→ [SET] ボタン
- 送信完了後の画  
面で [OK] → [SET]  
ボタン



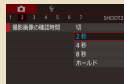
## その他の設定をする



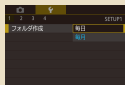
AF 補助光（ランプ）が  
光らないようにする



赤目緩和機能（ランプ）  
を切る



撮影直後の画像表示時  
間を変える



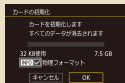
フォルダを撮影日ごと  
に作る



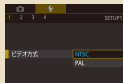
画像番号のつけかたを  
変える



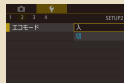
カードを初期化する



カードを物理フォー  
マット（初期化）する



ビデオ方式を変える

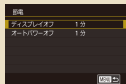


エコモードを使う





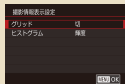
## その他の設定をする



節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える



画面の明るさを変える



撮影時の情報の表示内容を設定する



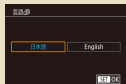
再生時の情報の表示内容を設定する



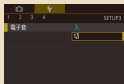
世界時計を使う



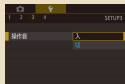
日付／時刻を変える



表示言語を変える



電子音を鳴らさない



操作したときに音を鳴らす



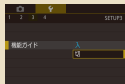
## その他の設定をする



文字入力で半角スペースを使う



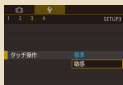
文字入力の変換履歴を初期化する



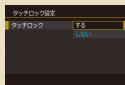
機能の説明を表示しない



撮影モードを一覧で表示する



タッチパネルの設定を変える



タッチパネルを一時的にロックする



撮像素子の自動クリーニングを行わない



撮像素子のクリーニング機能を動作させる



撮像素子を手作業で清掃する





## その他の設定をする



認証マークを確認する



画像に記録する著作権  
の情報を登録する



登録した著作権情報を  
まとめて消す



カメラの基本設定を初  
期状態に戻す



カメラの設定を機能ご  
とに初期状態に戻す



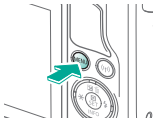
# AF 補助光（ランプ）が光らないように する



暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1

メニューを表示  
する



2

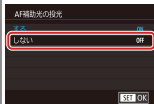
項目を選ぶ



● [CAMERA 3] → [AF  
補助光の投光]  
→ [SET] ボタン

3

設定する



● [しない] → [SET] ボ  
タン



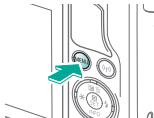
## 赤目緩和機能（ランプ）を切る



暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

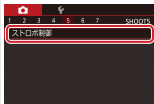
1

メニューを表示



2

項目を選ぶ



● [CAMERA 5] →  
[ストロボ制御]  
→ [SET] ボタン

3

設定する



● [赤目緩和機能]  
→ [SET] ボタン

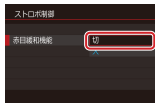





## 赤目緩和機能（ランプ）を切る



暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



● [切] →  ボタン

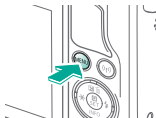


# 撮影直後の画像表示時間を変える



1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



- [カメラ 2] → [撮影直後の画像確認時間] → [SET] ボタン

3

設定する



- 項目を選ぶ → [SET] ボタン



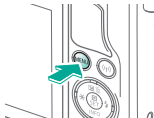
# フォルダを撮影日ごとに作る



撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。

1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [MENU] → [フォルダ作成] → [SET] ボタン

3

設定する



● [毎日] → [SET] ボタン



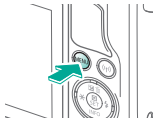
# 画像番号のつけかたを変える



撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。

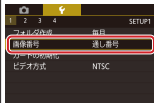
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [1] → [画像番号] → [SET] ボタン

3

設定する



● 項目を選ぶ → [SET] ボタン



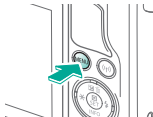
# カードを初期化する



新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。

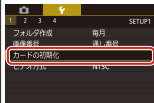
1

メニューを表示する



2

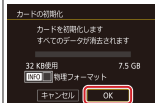
項目を選ぶ



● [1] → [カードの初期化]  
→ [SET] ボタン

3

実行する



● [OK] → [SET] ボタン



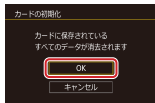




## カードを初期化する



新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。



- [OK] → (SET) ボタン  
→ [OK]



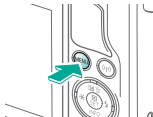
# カードを物理フォーマット（初期化） する



[カードが異常です] のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。  
物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。

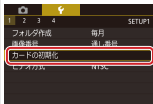
1

メニューを表示  
する



2

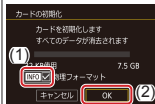
項目を選ぶ



● [1] → [カードの初期化]  
→ [SET] ボタン

3

実行する





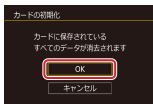
## カードを物理フォーマット（初期化）する



「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。  
物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。



- ▼ボタンで [✓]  
をつける → [OK]  
→ [SET] ボタン



- [OK] → [SET] ボタン  
→ [OK]



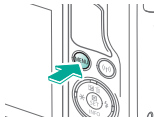
# ビデオ方式を変える



テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質（フレームレート）も変わります。

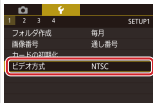
1

メニューを表示  
する



2

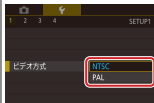
項目を選ぶ



● [メニュー] → [ビデオ方式] → [SET] ボタン

3

設定する



● 項目を選ぶ → [SET] ボタン



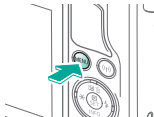
# エコモードを使う



撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに画面が暗くなり、消費電力がおさえられます。

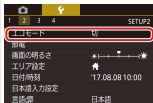
1

メニューを表示する



2

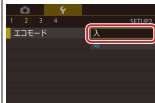
項目を選ぶ



● [2] →  
[エコモード]  
→ [SET] ボタン

3

設定する



● [入] → [SET] ボタン



# 節電機能（オートパワーオフ）の設定を 変える



節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます。

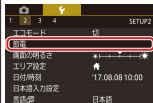
1

メニューを表示  
する



2

項目を選ぶ



- [🔧 2] → [節電]  
→ [SET] ボタン



- [ディスプレイオフ] または [オートパワーオフ]  
→ [SET] ボタン





## 節電機能（オートパワーオフ）の設定を 変える



節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます。

### 3

設定する



- 設定を変える

→  ボタン



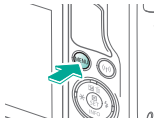
# 画面の明るさを変える



画面の明るさを変えられます。

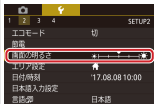
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [Y 2] → [画面の明るさ] → [SET] ボタン

3

設定する







## 画面の明るさを変える



画面の明るさを変えられます。



- ◀▶ ボタンで  
明るさを変える  
→ (ⓘ) ボタン



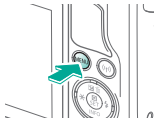
# 撮影時の情報の表示内容を設定する



撮影画面にグリッドを表示できます。また、▼ボタンを押したときに表示されるヒストグラムの種類を設定できます。

1

メニューを表示する



2

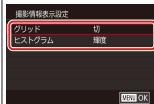
項目を選ぶ



● [CAMERA 1] → [撮影情報表示設定]  
→ [SET] ボタン

3

設定する





## 撮影時の情報の表示内容を設定する




撮影画面にグリッドを表示できます。また、▼ボタンを押したときに表示されるヒストグラムの種類を設定できます。


### 4

#### 設定する



- [グリッド] または [ヒストグラム] →  ボタン



- ▲ / ▼ ボタンで項目を選択 →  ボタン



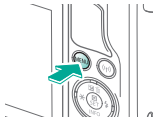
# 再生時の情報の表示内容を設定する



再生モードで▼ボタンを押すと、表示される撮影情報が切り換わります。表示させたい撮影情報を設定します。

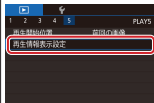
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [▶ 5] →  
[再生情報表示設定] → [SET] ボタン

3

設定する






## 再生時の情報の表示内容を設定する



再生モードで▼ボタンを押すと、表示される撮影情報が切り換わりま  
す。表示させたい撮影情報を設定します。



- 表示する情報表示を選ぶ→ボタンで[✓]をつける。



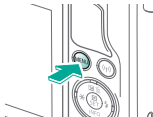
# 世界時計を使う



海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

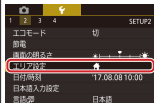
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [MENU] →  
[エリア設定]  
→ [SET] ボタン

3

訪問先のエリアを設定する



● [訪問先] → [SET] ボタン





## 世界時計を使う



海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

### 4

訪問先のエリア  
に切り換える

- 訪問先エリアを  
選ぶ → [☀️ OFF / ☀️]  
→ [SET] ボタン



- [✈️ 訪問先] →  
MENUボタン



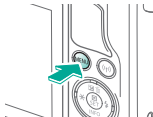
# 日付／時刻を変える



日付／時刻を、現在の設定から変えられます。

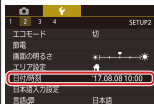
1

メニューを表示  
する



2

項目を選ぶ



● [2] →  
[日付／時刻]  
→ [SET] ボタン

3

設定する








## 日付／時刻を変える



日付／時刻を、現在の設定から換えられます。

---



- 項目を選んで設定する→ボタン



# 表示言語を変える



画面に表示される言語を変えられます。

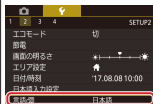
1

メニューを表示する



2

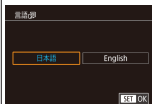
項目を選ぶ



● [🔧 2] → [言語  
🗣️] → [SET] ボタン

3

設定する



● 言語を選ぶ → [SET] ボタン



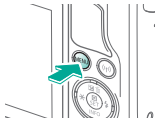
# 電子音を鳴らさない



シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音を鳴らさないようにできます。

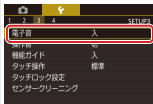
1



メニューを表示する



2

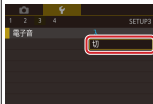
項目を選ぶ




● [  3 ] → [電子音]  
→  ボタン

3

設定する



● [切] →  ボタン



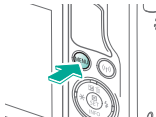
# 操作したときに音を鳴らす



カメラのボタンを押したり画面をタッチしたときに、音が鳴るようにすることができます。

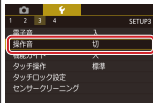
1

メニューを表示する



2

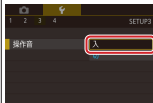
項目を選ぶ



● [ 3 ] → [操作音]  
→ ボタン

3

設定する



● [入] → ボタン

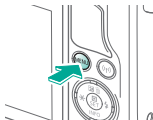


# 文字入力で半角スペースを使う



1

メニューを表示する



2

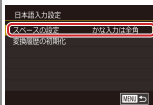
項目を選ぶ



- [🔧 2] → [日本語入力設定] → [SET] ボタン

3

設定する



- [スペースの設定] → [SET] ボタン



- [常に半角を使う] → [SET] ボタン

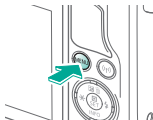


# 文字入力の変換履歴を初期化する



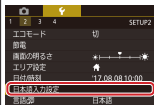
1

メニューを表示する



2

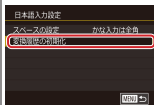
項目を選ぶ



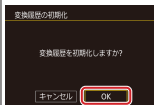
- [🔧 2] → [日本語入力設定] → [SET] ボタン

3

初期化する



- [変換履歴の初期化] → [SET] ボタン



- [OK] → [SET] ボタン



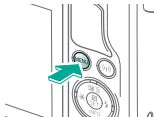
# 機能の説明を表示しない



クイック設定画面や撮影機能画面で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。

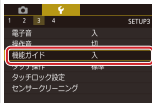
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [🔧 3] →  
[機能ガイド]  
→ [SET] ボタン

3

設定する



● [切] → [SET] ボタン



# 撮影モードを一覧で表示する



撮影モードの選択画面で、モード名は表示せず、撮影モードのアイコンだけを一覧表示することで素早くモードを選ぶことができます。

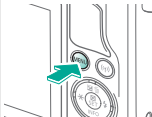
1

モードを選ぶ



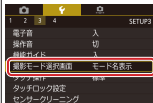
2

メニューを表示する



3

項目を選ぶ



- [Y 3] → [撮影モード選択画面] → [SET] ボタン







## 撮影モードを一覧で表示する




撮影モードの選択画面で、モード名は表示せず、撮影モードのアイコンだけを一覧表示することで素早くモードを選ぶことができます。

# 4

設定する



- [一覧表示] →   
ボタン



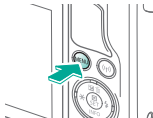
# タッチパネルの設定を変える



タッチパネルの感度を上げて軽いタッチにも敏感に反応するようにできます。

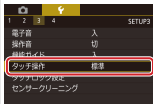
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



● [Y 3] →  
[タッチ操作]  
→ [SET] ボタン

3

設定する



● [敏感] → [SET] ボタン



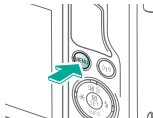
## タッチパネルを一時的にロックする



タッチパネルをロックすると、撮影画面でタッチパネルに誤って触れてしまったときの誤操作を防ぐことができます。

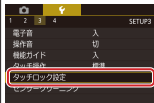
1

メニューを表示



2

項目を選ぶ



● [🔧 3] → [タッチロック設定]  
→ [SET] ボタン

3

設定する






## タッチパネルを一時的にロックする




タッチパネルをロックすると、撮影画面でタッチパネルに誤って触れてしまったときの誤操作を防ぐことができます。



- [タッチロック]  
→ [する] →  ボタン



- [ロックするまでの時間] → 項目を選ぶ →  ボタン



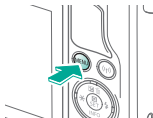
# 撮像素子の自動クリーニングを 行わない



電源を入り切りしたときや節電機能で電源が切れたときには、撮像素子前面に付いたゴミを自動的に取り除くクリーニング機能が働きます。この自動クリーニング機能を使わないようにすることができます。

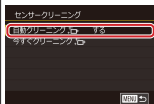
1

メニューを表示  
する



2

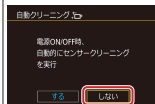
項目を選ぶ



- [F3] → [センサークリーニング] → [SET] ボタン → [自動クリーニング] → [SET] ボタン

3

設定する



- [しない] → [SET] ボタン



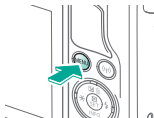
# 撮像素子のクリーニング機能を動作させる



電源を入り切りしたときや節電機能で電源が切れたときには、撮像素子前面に付いたゴミを自動的に取り除くクリーニング機能が働きます。必要に応じてクリーニング機能を動作させることができます。

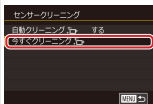
1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



- [F3] → [センサークリーニング] → [SET] ボタン → [今すぐクリーニング] → [SET] ボタン

3

実行する



- [OK] → [SET] ボタン



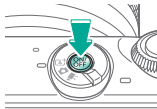
## 撮像素子を手作業で清掃する



撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやホコリがあったときに、市販品のブローアーなどを使用して、自分で清掃できます。撮像素子は非常にデリケートな部品です。手作業での清掃が必要なときは、できるだけ修理受付窓口にお申し付けください。

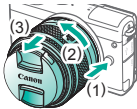
1

電源を切る



2

レンズを外す



3

撮像素子を清掃する





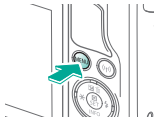
## 認証マークを確認する



このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、そのほかの認証マークは、本書やカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。

1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



- [F4] → [認証マーク表示]  
→ [SET] ボタン





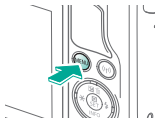
# 画像に記録する著作権の情報を登録する



作成者名や著作権者名を登録しておくで、撮影した画像に登録した情報を記録できます。

1

メニューを表示する



2

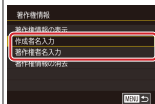
項目を選ぶ



● [4] →  
[著作権情報]  
→ [SET] ボタン

3

登録する






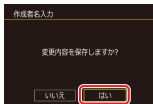
## 画像に記録する著作権の情報を登録する




作成者名や著作権者名を登録しておくで、撮影した画像に登録した情報を記録できます。



- [作成者名入力] または [著作権者名入力] →  ボタン → 名前を入力 → **MENU** ボタン



- [はい] →  ボタン



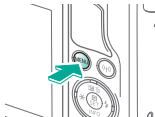
# 登録した著作権情報をまとめて消す



登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。

1

メニューを表示  
する



2

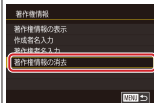
項目を選ぶ



● [4] →  
[著作権情報]  
→ [SET] ボタン

3

消去する



● [著作権情報の消  
去] → [SET] ボタン

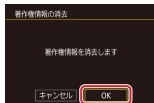




## 登録した著作権情報をまとめて消す



登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。



● [OK] → (SET) ボタン  
ン



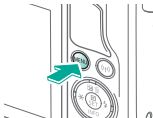
# カメラの基本設定を初期状態に戻す



カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

1

メニューを表示する



2

項目を選ぶ



- [4] → [カメラの初期化] → [SET] ボタン



- [基本設定] → [SET] ボタン

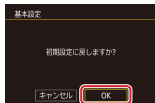




カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

### 3

実行する



- [OK] → (SET) ボタン  
ン

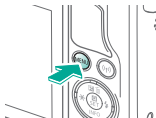


# カメラの設定を機能ごとに初期状態 に戻す



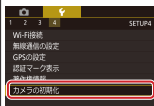
1

メニューを表示する

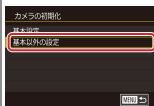


2

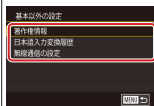
項目を選ぶ



- [🔧 4] → [カメラの初期化] → [SET] ボタン



- [基本以外の設定] → [SET] ボタン



- 初期化する機能を選ぶ → [SET] ボタン





カメラの設定を機能ごとに初期状態に戻す



# 3

実行する



- [OK] → (SET) ボタン





# 索引



## 数字

1 点 (AF フレームモード) 153

## アルファベット

### A

AE ロック 124

AF フレーム 153

Av (撮影モード) 180

### C

Camera Connect 298, 301,  
304

CANON iIMAGE GATEWAY  
307, 312

### D

DLNA 296

### F

FE ロック 162

### I

ISO 感度 126

### M

MF (手動ピント合わせ) 146

MF ピーキング 151

MWB 133

M (撮影モード) 182

### P

P (撮影モード) 7



## R

RAW 229

RAW 現像 281, 283

## T

Tv (撮影モード) 178

## W

Web サービスへの送信 313

## かな

## あ

赤目補正 277

圧縮率 228

## い

色あい (ホワイトバランス) 132

色温度 136, 138

色収差補正 173

色の濃さ 140

インデックス表示 243

## う

ウィンドカット 215

## え

エコモード 329



## お

オートモード（撮影モード） 38,  
80, 81  
オートライティングオプティマイザ  
128  
お気に入り設定 257  
音 343

## か

カード 22  
海外で使う 338  
階調優先 129  
回転 268  
顔＋追尾優先 AF 153  
拡大表示 235  
各部のなまえ 46

## 画像

消す 259, 260, 262, 265  
表示時間 321  
保護 249, 250, 252, 255  
画像番号 323  
画像を送る 313  
カメラ  
設定初期化 361, 363  
画面  
表示言語 26

## き

魚眼風（撮影モード） 103  
記録画素数（画像の大きさ） 228  
近接撮影 91



## く

クイック設定画面

基本操作 60

タッチ操作 70

クリーニング（撮像素子） 353,  
354, 355

クリエイティブアシスト（撮影モード） 194

クリエイティブフィルター 275

クローズアップ（撮影モード） 91

## け

消す 259, 260, 262, 265

検索 244

## こ

高感度撮影時のノイズ低減 174

ゴミの写り込み防止 354, 355

## さ

サーボ AF 154

## し

ジオラマ風（撮影モード） 111

自分撮り（撮影モード） 86

ジャンプ表示 246

充電 21

周辺光量補正 173

白黒画像 99



## す

水彩風（撮影モード） 107

ズーム 38, 40

ストラップ 20

ストロボ

FE ロック 162

設定初期化 169

調光方式 165

調光補正 161

発光タイミング 164

発光量 166

モード 160

スポーツ（撮影モード） 92

スマートフォンへの送信 298,

301, 304

スムーズゾーン AF 153

スライドショー 237

## せ

世界時計 338

設定初期化 361, 363

セルフタイマー

セルフタイマーを使う 221

タイマー時間と撮影枚数を変え  
る 223

センサークリーニング 353, 354

全消去 265



## そ

測光方式 125

ソフトフォーカス（撮影モード）  
101

## た

タイムラプス動画（撮影モード）  
210

タッチ AF 157

タッチシャッター 225

縦横比を変える 231

## ち

調光補正 161

長時間露光 184

長秒時露光のノイズ低減 176

## て

手ブレ補正 171

手持ち夜景（撮影モード） 95

## と

### 動画

画質（記録画素数 / フレーム数）  
232

編集 287, 290, 292

トリミング（画像の切り抜き）  
272

## の

### ノイズ低減

高感度 174, 175

長秒時 176



## 索引



### は

ハイダイナミックレンジ（撮影モード） 114

バッテリー

エコモード 329

充電 21

バルブ撮影 184

### ひ

ピクチャースタイル 139, 140, 142

日付／時刻

世界時計 338

設定 25

変更 340

表示言語 26

表示時間 321

ピント合わせ

AF フレーム 153

MF ピーキング 151

サーボ AF 154

タッチ AF 157

ピント位置拡大 146

### ふ

風景（撮影モード） 90

フォーカスゾーン

マニュアルフォーカス 146

プラスムービーオート（撮影モード）  
83



へ

編集

赤目補正 277

トリミング（画像の切り抜き）  
272

リサイズ（画像を小さくする）  
270

ほ

ポートレート（撮影モード） 88

保護 249, 250, 252, 255

ホワイトバランス（色あい） 132

ま

マクロ撮影 91

マニュアルフォーカス 146

マニュアルホワイトバランス 133

マルチショットノイズ低減機能  
175

み

見る

インデックス表示 243

拡大表示 235

画像の検索 244

ジャンプ表示 246

スライドショー 237

静止画 234

タッチ操作 74

短編動画（ダイジェスト動画）  
240

動画 238





## む

無線機能 296

## め

### メニュー

基本操作 62

タッチ操作 72

## ゆ

油彩風（撮影モード） 105

## ら

ラフモノクロ（撮影モード） 99

ランプ 68, 318, 319

## り

リサイズ（画像を小さくする）  
270

料理（撮影モード） 93

## れ

レーティング 257

### レンズ

取り付ける 27

取り外す 29

ロック解除 29

## ろ

### 露出

AE ロック 124

FE ロック 162

補正 122



## 無線機能（Wi-Fi/Bluetooth など） について



- 無線機能が使える国や地域について
  - 無線機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。
  - そのため、無線機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。（モデルナンバーは、PC2276 です。）
  - なお、それ以外の国や地域で無線機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解、または改造すること
  - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法により規制されている貨物または技術に該当するものを外国へ輸出（外国への持ち出し、国内における非居住者への開示を含む。）する場合、必要に応じ日本政府の輸出許可または役務取引許可を受ける必要があります。
- 本製品には、米国製暗号化品目が搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる Wi-Fi の設定については、必ず控えを取ってください。
- 本製品に登録した無線機能の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。





## 無線機能（Wi-Fi/Bluetooth など）について



- 弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは無線機能の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
- 紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。  
本製品の無線機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用了結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線機能は使用しないでください。無線機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。





## 電波干渉について



- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。



## 商標、ライセンスについて



- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi<sup>®</sup>、Wi-Fi Alliance<sup>®</sup>、WPA<sup>™</sup>、WPA2<sup>™</sup> および Wi-Fi Protected Setup<sup>™</sup> は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth<sup>®</sup> のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。





## 商標、ライセンスについて



- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.





## 修理対応期間について



本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。

なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。



# 本書について



- 内容が無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。



